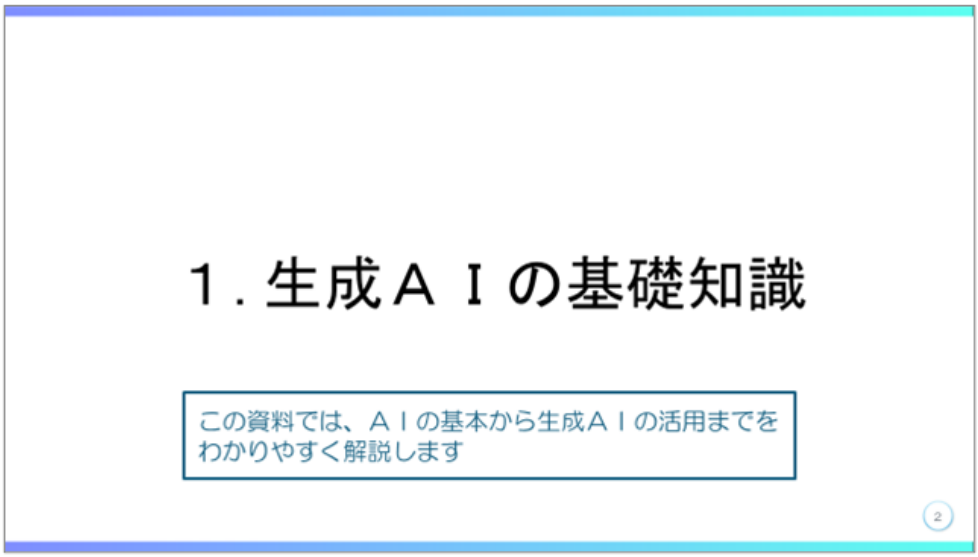
⑨授業９：AI リテラシーと公務員試験 AI 対策- 1

授業の位置づけ
AI リテラシー習得を目的として、AI 分野の基礎理解を中心に、生成 AI の仕組みと学習モデルについて体系的に学習する。 教材該当項目「１．生成 AI の基礎知識」、「２．生成 AI を構成する要素」「３．進化する機械学習」
到達目標
１．生成 AI の概念を整理し、従来型 AI との違いを理解する ２．AI がデータを用いて学習する基本的な仕組みを理解する ３．生成 AI を支える代表的な学習モデル（ディープラーニング）の概要を理解する
授業構成
教材に沿って図解と具体例を用いながら、段階的に生成 AI への理解を深める。
使用教材
AI リテラシーと公務員試験 AI 対策
授業進行
指導者用授業ガイドに従って授業を進行する。
評価観点
１．生成 AI の基本的な仕組みを正しく理解しているか ２．仕組みを基に、AI の特徴や違いを自分の言葉で説明できるか ３．用語を適切に用いて、内容を整理して述べられるか
評価基準（授業単位での評価の参考）
授業の取り組み姿勢（質疑での発言、改善への取り組み）を基に評価する。

□授業進行

以下の指導者用ガイドに従って進行する。

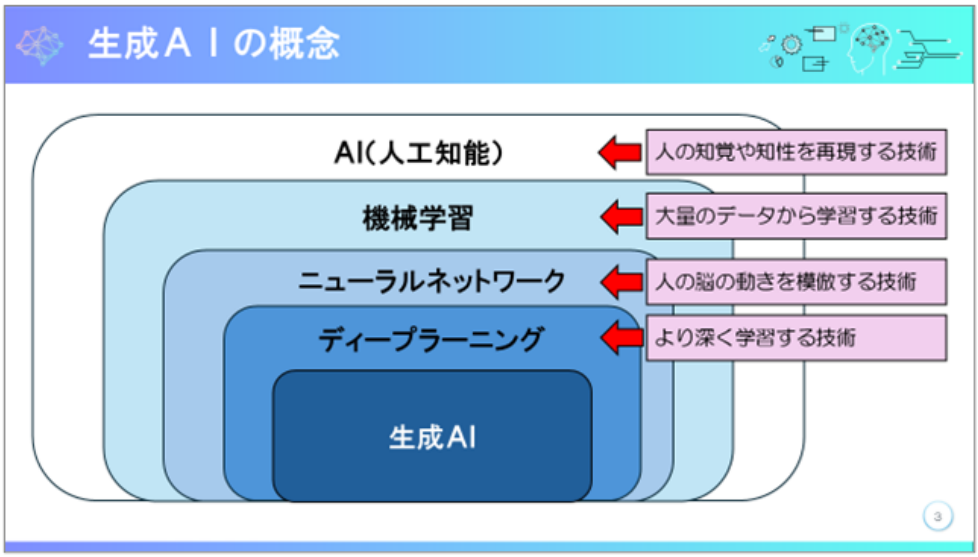


私たちが日常的に耳にする「生成ＡＩ」は、実は複数のＡＩ技術が積み重なって動いている“複合技術”です。

ChatGPT や画像生成ＡＩを「ひとつの魔法の箱」と捉えがちですが、実際には多層的な技術で構成されています。

生成ＡＩは今後、行政・ビジネスにおいて不可欠な基盤技術となるため、その仕組みを理解し、正しく活用することが重要です。

1



(1) ＡＩ（人工知能）

ＡＩとは、人間の知的な活動をコンピュータで再現する技術の総称です。
ＡＩは非常に広い概念であり、知的処理を行う技術全般を含みます。

例：画像の中の猫を識別する、過去データから売上を予測する、自動運転において
周囲状況を判断する

(2) 機械学習

ＡＩの中核となる技術の一つで、ＡＩが大量のデータを読み込み、自らルールを学習する仕組みです。

例：犬の画像を多数読み込み、「これが犬である」とＡＩが自動的に特徴を学ぶ。

(3) ニューラルネットワーク

人間の脳の神経回路（ニューロン）を模倣したモデルで、学習を繰り返すほど精度が向上します。ＡＩの「脳」に相当する技術といえます。

(4) ディープラーニング

ニューラルネットワークを多層化し、高度化したものです。層(レイヤー)が深いほど、画像の複雑な特徴を捉え、文章の文脈を理解するなど、高度な処理が可能になります。
現代の画像生成ＡＩやChatGPTの中核は、このディープラーニングです。

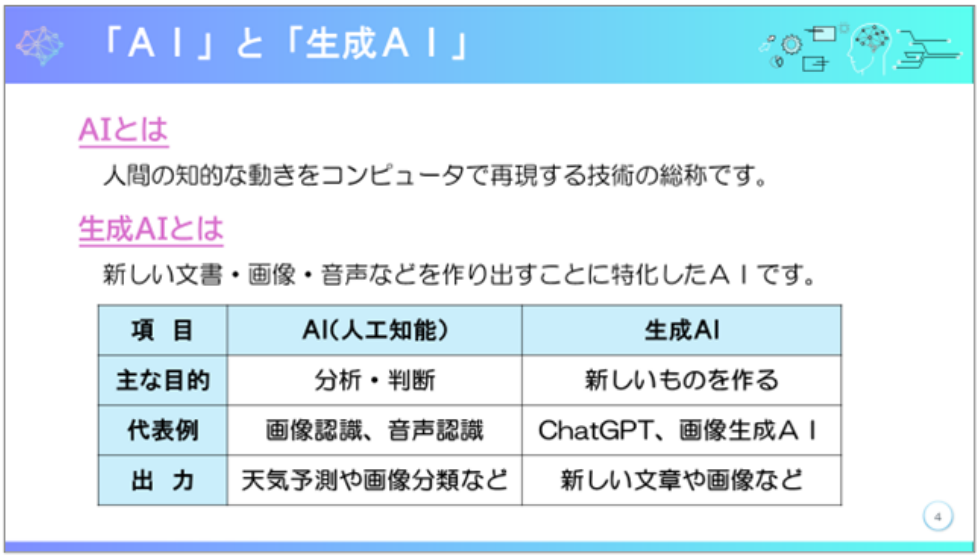
(5) 生成ＡＩ

これらの技術を土台として、新しいテキスト・画像・音声・動画などを生成する
ＡＩの総称です。

【階層構造】

ＡＩ → 機械学習 → ニューラルネットワーク → ディープラーニング → 生成ＡＩ

2



「ＡＩ」と「生成ＡＩ」

AIとは

人間の知的な動きをコンピュータで再現する技術の総称です。

生成AIとは

新しい文書・画像・音声などを作り出すことに特化したＡＩです。

項　目	AI(人工知能)	生成AI
主な目的	分析・判断	新しいものを作る
代表例	画像認識、音声認識	ChatGPT、画像生成ＡＩ
出　力	天気予測や画像分類など	新しい文章や画像など

4

(1) ＡＩ（人工知能）

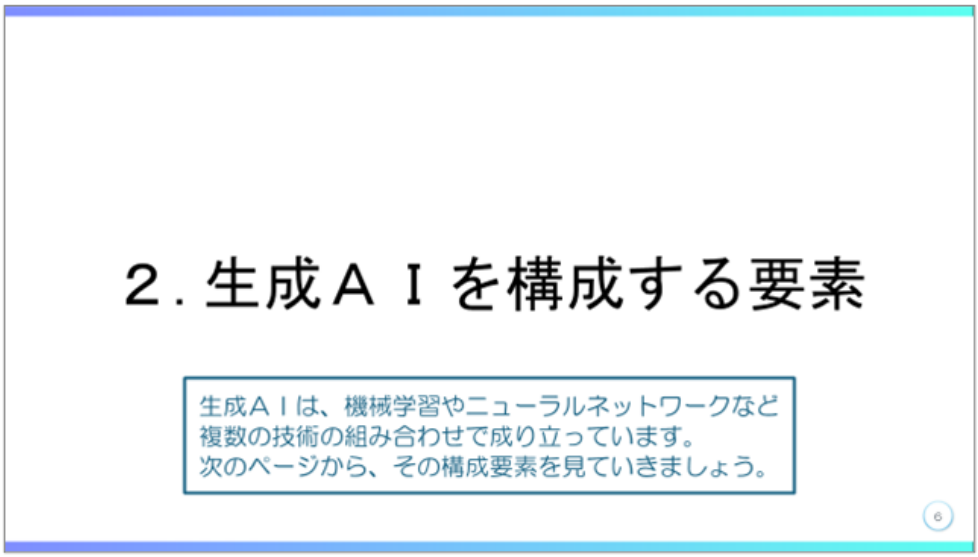
知的処理を行うための広い概念で、認識、予測、判断などを行います。

例：画像の中の猫を認識する
　　過去データから売上を予測する
　　自動運転で周囲の状況を判断する

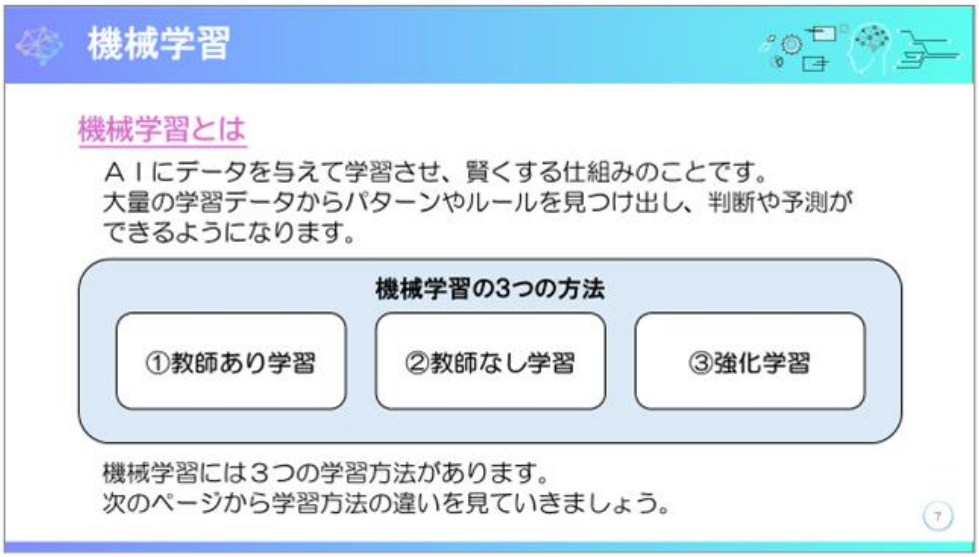
(2) 生成ＡＩ

ＡＩの中でも「新しいものを作り出す」ことに特化した技術です。
生成ＡＩは「クリエイティブな成果物を生み出すＡＩ」といえます。

例：文章生成
　　イラストや写真生成
　　メロディ創作
　　新しい映像の生成

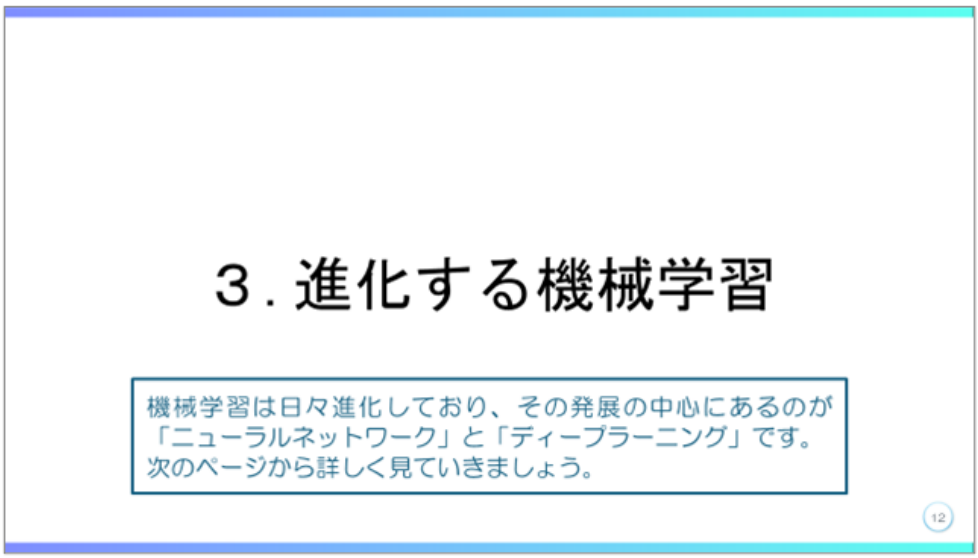


生成ＡＩは、機械学習やニューラルネットワークなど複数の技術の組み合わせで成り立っています。
次のページから、その構成要素を見ていきましょう。

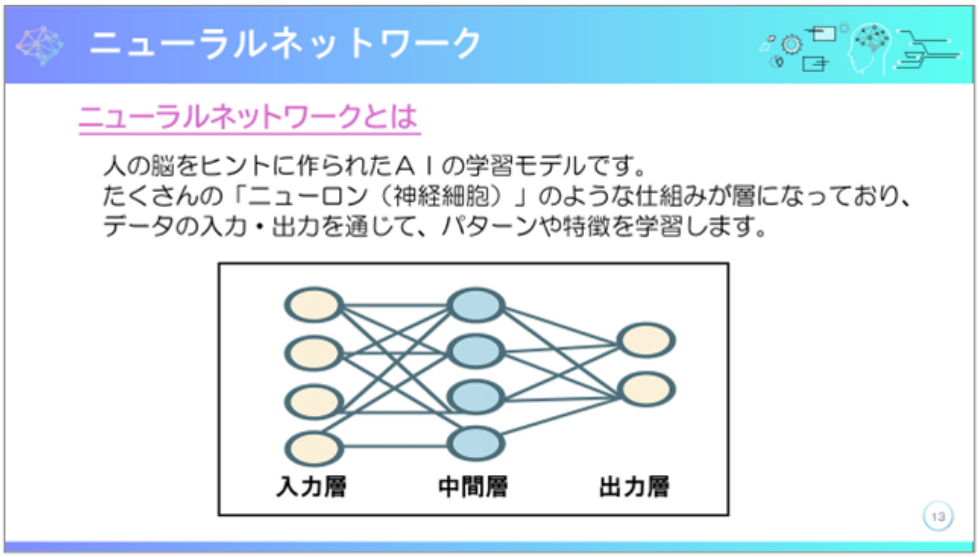


機械学習とは、ＡＩにデータを与えて学習させ、賢くする仕組みのことです。
ＡＩが大量の学習データからパターンやルールを見つけ出し、判断や予測ができるようになります。

機械学習に「教師あり学習」「教師なし学習」「強化学習」の３つの学習方法があります。
ここでは、それぞれの特徴と具体例を整理して解説します。



機械学習は日々進化しており、その発展の中心にあるのが「ニューラルネットワーク」と「ディープラーニング」です。詳しく見ていきましょう。



(1) 概要

生成ＡＩには、ニューラルネットワークという重要な仕組みが関わっています。
ニューラルネットワークの理解は、生成ＡＩを正しく理解するための基礎となるものです。
ここではその構造と特徴について解説します。ニューラルネットワークとは、人の脳を模倣したＡＩの学習モデルです。多くの「ニューロン(神経細胞)」が層状に並び、データを入力・計算・出力することで、データのパターンや特徴を学習します。ニューラルネットワークは「入力層」「中間層」「出力層」の3つの層で構成されます。入力層に与えたデータは、中間層で複数の計算処理を経て、最終的な結果として出力層に送られます。

(2) 図の構成要素

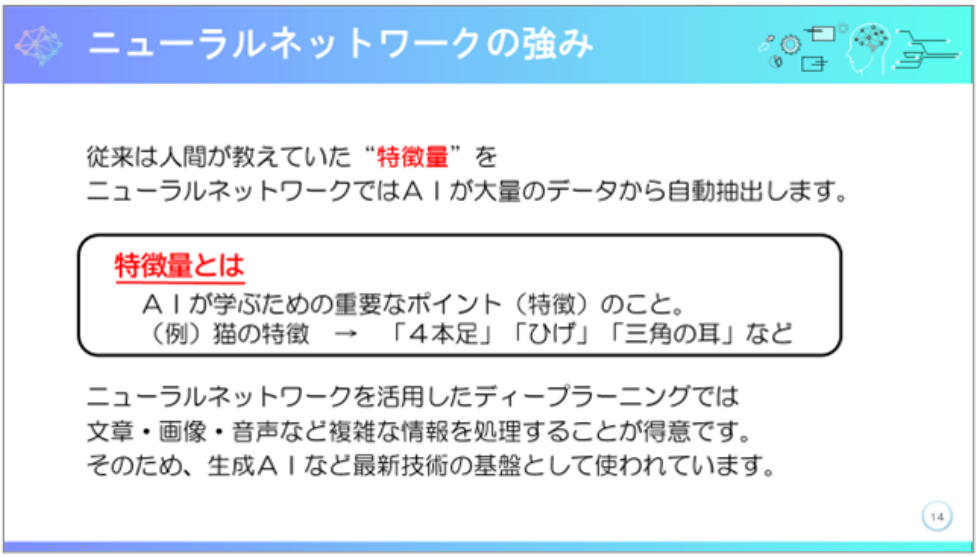
・ニューロン
各ニューロン(図の丸印)はひとつの数値を持ち、次の層のニューロンへ値を送ります。

・シナプス
ニューロン同士をつなぐ線をシナプスと呼びます。
値が通る際に「重み(Weight)」が掛け算されます。

・重み
シナプスが持つ数値で、値の重要度を調整します。

・バイアス
ニューロンが持つ定数で、計算結果を微調整します。

・活性化関数
中間層で計算された値は、そのまま次の層に送られず、「活性化関数」と呼ばれる変換処理を通ってから次の層へ渡ります。ニューラルネットワークは、活性化関数によって複雑な分類問題や予測問題に対応できるようになります。



ニューラルネットワークの最大の特徴は、特徴量(データの中でＡＩが注目すべき重要な要素)を自動で学習できることです。
従来の機械学習では、「どこに注目するべきか」「どの特徴が重要なのか」を人間が事前に定義する必要がありました。

例：猫画像の判定ＡＩを作る場合
→「耳の形」「目の位置」など、人間が特徴量を決める必要がありました。

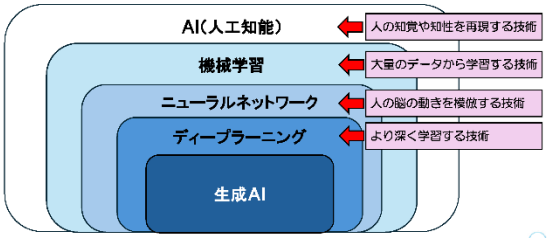
しかしニューラルネットワークでは、ＡＩがデータをもとに自動で重要な特徴を学習します。
そのため、人間は大量のデータを用意するだけでよく、精度の高いモデルを構築できる点が大きな利点です。

□使用教材（AI リテラシーと公務員試験 AI 対策）

１．生成ＡＩの基礎知識

この資料では、ＡＩの基本から生成ＡＩの活用までを
わかりやすく解説します

生成ＡＩの概念



「ＡＩ」と「生成ＡＩ」

AIとは

人間の知的な動きをコンピュータで再現する技術の総称です。

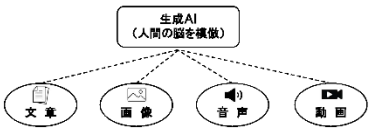
生成AIとは

新しい文書・画像・音声などを作り出すことに特化したＡＩです。

項　目	AI(人工知能)	生成AI
主な目的	分析・判断	新しいものを作る
代表例	画像認識、音声認識	ChatGPT、画像生成ＡＩ
出　力	天気予測や画像分類など	新しい文章や画像など

生成ＡＩ

生成AI＝人工的に作られた知能の一種



大量のデータから学習し、人間の脳（思考）を模倣して、新しいものを作り出す技術です。
近年では画像や音声の認識、文書の作成、自動運転など、私たちの生活や仕事のあらゆる場面で生成ＡＩが活用され始めています。

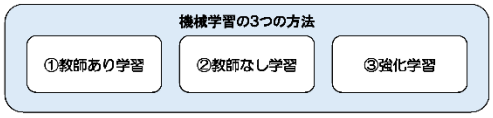
２．生成ＡＩを構成する要素

生成ＡＩは、機械学習やニューラルネットワークなど
複数の技術の組み合わせで成り立っています。
次のページから、その構成要素を見ていきましょう。

機械学習

機械学習とは

ＡＩにデータを与えて学習させ、賢くする仕組みのことです。
大量の学習データからパターンやルールを見つけ出し、判断や予測ができるようになります。



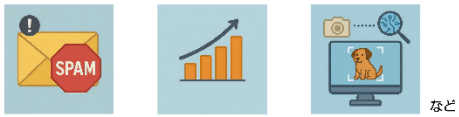
機械学習には３つの学習方法があります。
次のページから学習方法の違いを見ていきましょう。

教師あり学習

教師あり学習とは

人間が正解を与え、ＡＩに正しい出力を学ばせる方法です。
過去のデータから「正解を導き出したい」「未来を予測したい」場合に使われます。

例）スパムメールの判断　売上予測　画像認識



など

教師なし学習

教師なし学習とは

正解がわからないときに使う学習方法
人間が正解を与えず、ＡＩがデータの特徴を見つけて分類・分析する方法です。構造の見えにくいデータを整理・グループ化するときに使われます。

例）顧客の購買傾向分析　類似画像のグループ化



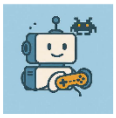
など

強化学習

強化学習とは

ＡＩが試行錯誤を繰り返しながら、最適な行動を学ぶ方法です。
「成功したら加点」「失敗したら減点」といった仕組みの中で、どうすれば最も良い結果になるか、ＡＩが自分で体験することから学習します。

例）掃除ロボット　ゲームＡＩ　自動運転


など

10

機械学習のまとめ

機械学習はAIの「頭脳」を鍛えるプロセスです。

機械学習の３つの方法を目的に応じて使いわけます。
→それぞれの特徴を理解し、目的に合わせて使い分けることが重要です。

学習方法	正解データ	代表例
教師あり学習	あり	売上予測
教師なし学習	なし	類似画像のグループ化
機械学習	報酬	自動運転

11

３．進化する機械学習

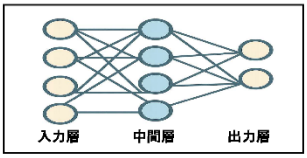
機械学習は日々進化しており、その発展の中心にあるのが「ニューラルネットワーク」と「ディープラーニング」です。
次のページから詳しく見ていきましょう。

12

ニューラルネットワーク

ニューラルネットワークとは

人の脳をヒントに作られたＡＩの学習モデルです。
たくさんの「ニューロン（神経細胞）」のような仕組みが層になっており、データの入力・出力を通じて、パターンや特徴を学習します。



13

ニューラルネットワークの強み

従来は人間が教えていた“特徴量”を
ニューラルネットワークではＡＩが大量のデータから自動抽出します。

特徴量とは
ＡＩが学ぶための重要なポイント（特徴）のこと。
（例）猫の特徴　→　「４本足」「ひげ」「三角の耳」など

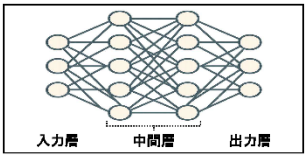
ニューラルネットワークを活用したディープラーニングでは
文章・画像・音声など複雑な情報を処理することが得意です。
そのため、生成ＡＩなど最新技術の基盤として使われています。

14

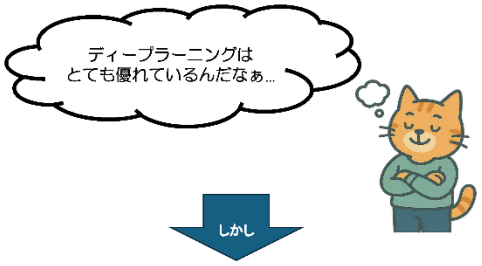
ディープラーニング

ディープラーニングとは

ニューラルネットワークをさらに多層化した学習モデルです。
大量のデータを使い、人間が教えなくてもＡＩが自分で重要な特徴を見つけ出し、高精度の判断や予測を行えます。



15



16

ディープラーニングの問題点

AIのブラックボックス化

ＡＩが「どのように考えて判断したか」を人間が説明できない。
間違った結果を出しても、誤りの原因を特定できない。

そのため

XAI（説明可能AI）の開発

ＡＩがなぜその判断や結果を出したか説明するＡＩ
ＡＩがどの特徴を重視したのか、人が確認できるようにする技術



17

ディープラーニングのまとめ



ディープラーニングは、ＡＩが自ら学び考える時代を
切り開いた技術。

「ＡＩのブラックボックス化」という説明性の課題もある。

ＸＡＩ開発により、課題解消が進められている。

強力な技術である一方、使う側が仕組みを理解し、
注意して活用することが重要です。

⑩授業 10：AI リテラシーと公務員試験 AI 対策- 2

授業の位置づけ
AI リテラシー習得を目的として、代表的な生成 AI（ChatGPT、Gemini、Copilot）の特徴と利用方法を理解し、目的に応じた活用の基礎を学習する。 教材該当項目「４．代表的な生成 AI の紹介」
到達目標
１．代表的な生成 AI の強みや特徴を整理し、それぞれの違いを理解する ２．生成 AI を利用する際に必要な環境や留意点を理解する ３．生成 AI の基本的な操作を体験し、活用のイメージを持つ
授業構成
教材に沿って各生成 AI の特徴を学習するとともに、利用環境を整える。さらに、簡単な操作体験を通して生成 AI の活用への理解を深める。
使用教材
AI リテラシーと公務員試験 AI 対策
授業進行
教材に沿って授業を進行する。
評価観点
１．代表的な生成 AI の強みや特徴を理解し、要点を整理できているか ２．生成 AI の利用条件や注意点を理解しているか ３．生成 AI の基本的な操作を理解し、活用イメージを持てているか
評価基準（授業単位での評価の参考）
授業の取り組み姿勢（質疑での発言、改善への取り組み）を基に評価する。

□使用教材（AI リテラシーと公務員試験 AI 対策）

４．代表的な生成ＡＩ

ディープラーニングを活用した代表的な生成ＡＩサービスとして、現在広く使われているものに ChatGPT、Gemini、Copilot があります。

代表的な生成ＡＩ比較

2025年11月現在

	ChatGPT	Google Gemini	Microsoft Copilot
主な強み	文章生成 アイデア出し	最新情報検索 マルチメディア	ビジネス資料 データ分析
	長文生成 レポート下書き プログラミング補助	Google検索・要約 動画・音声解析 リアルタイム情報	Wordでの提案書 Excelでのデータ分析 PowerPointでのスライド自動生成
無料版	無料版の設定があります 有料版よりも利用に制限があります 有料版よりも機能に制限があります 有料版よりも回答精度が劣ります		

※ 機能や金額は変動する可能性があります

ChatGPTへのアクセス方法

＜アクセス方法等＞

・アプリ、Web版の両方で利用できます。
・スマートフォンやパソコンなど、端末を問わず利用できます。
・ログインしなくても一部の機能を利用できます。
・OpenAIアカウントを登録することで履歴保存や音声入力など便利な機能が使えます。
・偽サイトや非公式アプリに注意してください。

Web版　Apple　Android



ChatGPTの特徴

開発元：Open AI

＜主な用途＞
・文書作成、要約、アイデア出し
・プログラミング補助（コード作成や修正）
・学習サポート（質問への回答、レポート作成の下書きなど）
・会話型アシスタントとして情報整理や相談に対応

＜特　徴＞
・幅広い分野の知識を持ち、自然な会話が可能
・テキストだけでなく、画像や音声にも対応
・プラグイン機能やAPIを利用して、独自アプリの開発が可能
・プログラミングや文書作成など、学習支援に強み

＜利用シーン＞
・レポートや企画書の下書き作成
・英文添削、翻訳の練習
・プレゼン資料の構成アイデア作成

Geminiへのアクセス方法

＜アクセス方法等＞

・アプリ、Web版の両方で利用できます。
・スマートフォンやパソコンなど、端末を問わず利用できます。
・Googleアカウントがあれば、すぐに利用を開始できます。
・Googleアカウントにログインすることで、会話履歴の保存や設定変更が可能です。
・偽サイトや非公式アプリに注意してください。

Web版　Apple　Android



Geminiの特徴

開発元：Google

＜主な用途＞
・情報検索、文章作成
・Google各種サービスとの連携
・コンテンツ分析（画像、音声、動画など）

＜特　徴＞
・Google、YouTube、Google Driveなどとの連携が可能
・テキスト、画像、音声、動画などを扱い、音声ファイルの文字起こしにも対応

＜利用シーン＞
・情報検索と要約（Google検索の強化版ＡＩ）
・Google Workspaceでの作業支援

＜ChatGPTと比較した強み＞
・Googleの各種サービスとのシームレスな統合
・最新情報の更新に強みがある

Copilotへのアクセス方法

＜アクセス方法等＞

・アプリ、Web版の両方で利用できます。
・スマートフォンやパソコンなど、端末を問わず利用できます。
・Microsoftアカウントまたは組織のアカウントでログインして利用します。
・Microsoft365アプリ（Word、Excel、Outlookなど）からも利用できます。
・偽サイトや非公式アプリに注意してください。

Web版　Apple　Android



Copilotの特徴

開発元：Microsoft

＜主な用途＞
・Microsoft365の作業効率化
・文書作成（Word）、データ分析（Excel）、資料作成（PowerPoint）
・ビジネス向けのカスタマイズＡＩ作成

＜特　徴＞
・生成ＡＩによる文章やデータを自動処理

＜利用シーン＞
・会議資料の自動作成
・データからのレポート作成
・社内情報の検索や要約

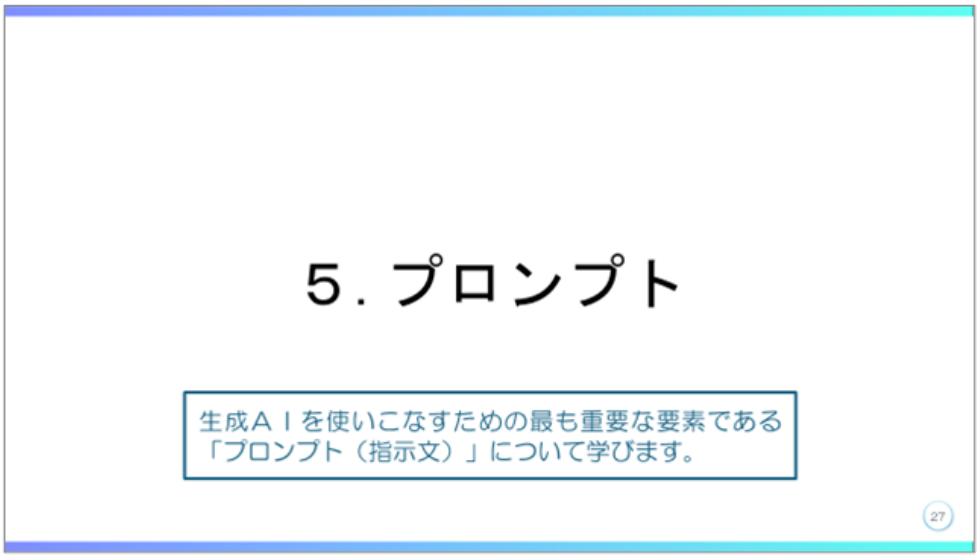
＜ChatGPTと比較した強み＞
・Microsoft 365アプリとの完全統合
・権限管理やセキュリティ対応に強みがあります

⑪授業 11：AI リテラシーと公務員試験 AI 対策- 3

授業の位置づけ
AI リテラシー習得を目的として、生成 AI を適切に活用するために必要なプロンプト設計の考え方を学習する。 教材該当項目「５．プロンプト」
到達目標
１．プロンプトの意味と役割を理解し、目的に応じて活用する ２．出力結果に影響する要素を踏まえ、プロンプトを具体化する視点を理解する ３．プロンプトの基本的な構成要素を理解する ４．プロンプトエンジニアリングの基本的な考え方を理解する ５．生成 AI 利用時の注意点を理解する
授業構成
教材に沿って、プロンプトの基本構造と考え方を、具体例を通して学習し、生成 AI 活用に必要な指示の出し方を理解する。
使用教材
AI リテラシーと公務員試験 AI 対策
授業進行
指導者用授業ガイドに従って授業を進行する。
評価観点
１．プロンプトの役割と基本構造を理解しているか ２．目的に応じたプロンプトの工夫の考え方を理解しているか ３．指示内容と出力結果の関係を説明できるか ４．生成 AI 利用における注意点を理解しているか
評価基準（授業単位での評価の参考）
授業の取り組み姿勢（質疑での発言、改善への取り組み）を基に評価する。

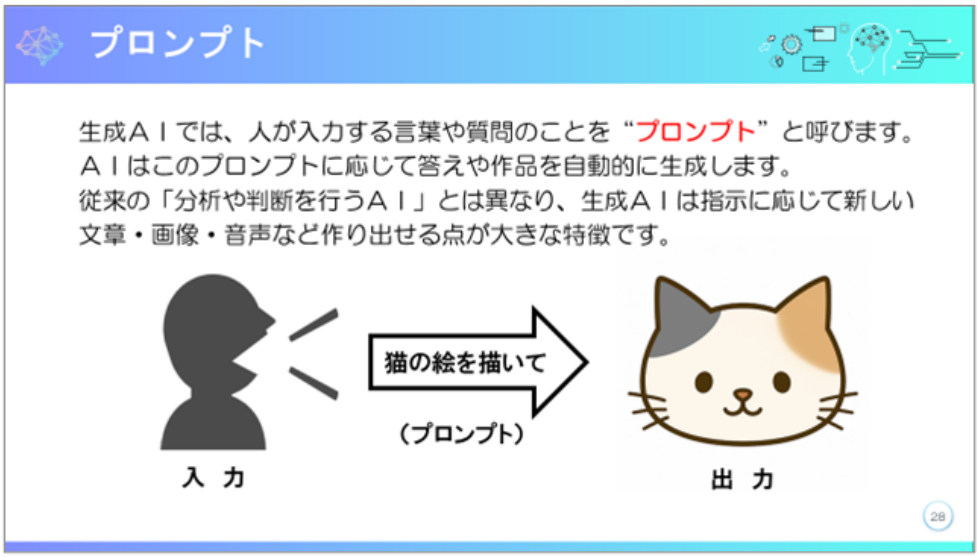
□授業進行

以下の指導者用ガイドに従って進行する。



生成ＡＩを使いこなすための最も重要な要素である「プロンプト(指示文)」について学びます。

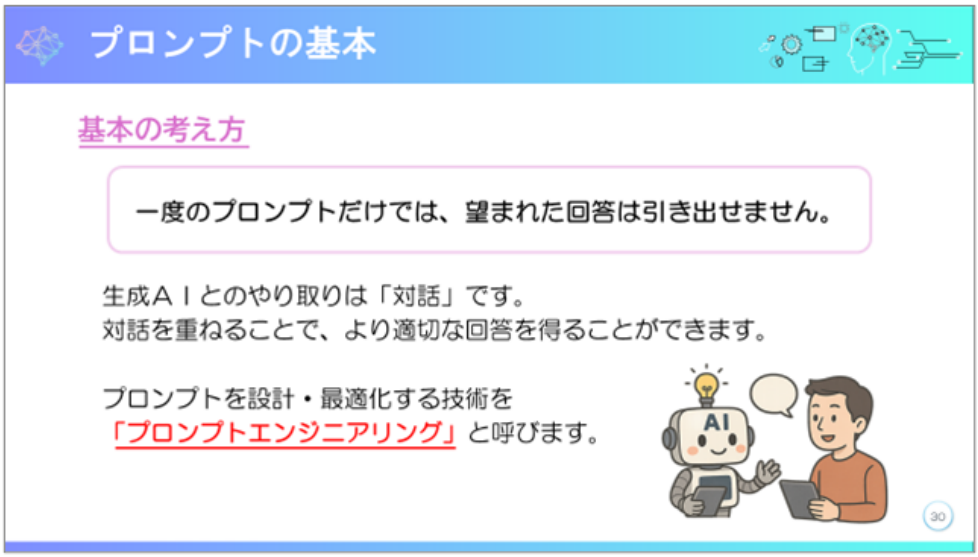
19



生成ＡＩでは、人が入力する言葉や質問のことを「プロンプト」と呼びます。プロンプトは“ＡＩに出す指示書”の役割を持ち、ＡＩはその内容に応じて回答や作品を自動生成します。

プロンプトとは、質問、指示、条件、作りたいもののイメージなど、ＡＩに実行してほしい内容を言葉で伝えるための入力文です。「この文章を短くしてください」「明るい雰囲気のSNS投稿文を作ってください」など、こうした指示がプロンプトです。

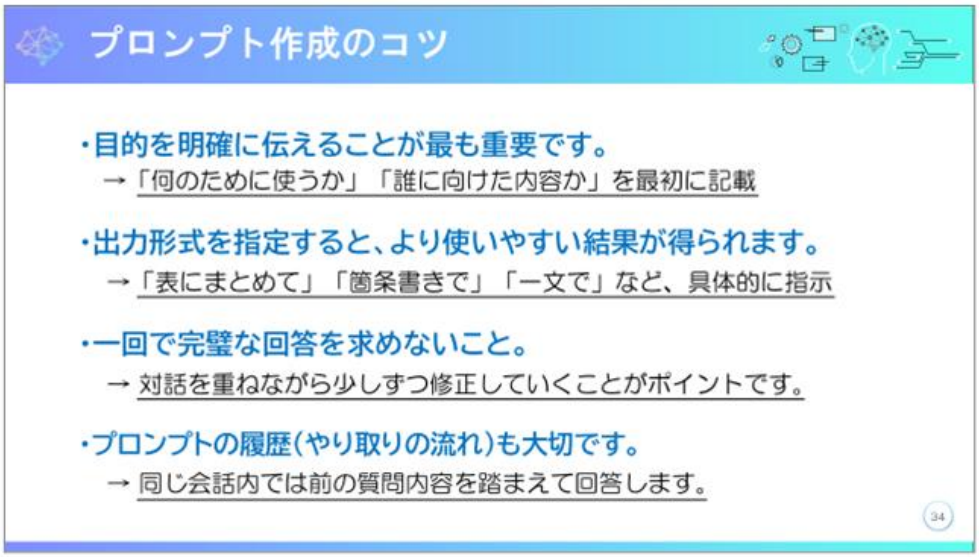
従来のＡＩは、「分類する」「分析する」「判断する」といった処理が中心でした。一方、生成ＡＩはプロンプトをもとに、「新しい文字」「新しい画像」「新しい音声」「新しい動画」など“新しいコンテンツ”を生み出せる点が特徴です。元のデータに存在しない新しい成果物を生成できる点が、生成ＡＩの最大の強みです。



生成ＡＩを利用する際に知っておくべき重要なポイントがあります。それは、「一度のプロンプトだけで理想の回答は得られない」ということです。多くの初心者は、「一度質問して思い通りでなければ終わり」という使い方をしてしまいます。

しかし、生成ＡＩの本質は対話型です。一方通行ではなく、やり取りを積み重ねることで回答の精度が向上します。生成ＡＩは最初から完璧な回答を返すわけではありません。そこで必要になるのが、「条件を追加する」「出力を見て修正点を伝える」「別の方向性を提案させる」といった対話を継続するプロセスです。生成ＡＩとのやり取りは、共同作業のようなイメージです。

このように、「どんな指示を出すか」「どう修正していくか」を設計して最適化する行為を プロンプトエンジニアリング と呼びます。専門的な言葉に見えますが、誰でも身につけられる実用的なスキルです。



(1) 指示と目的を明確にする

何のために使うのか、誰向けなのかを伝えるとＡＩの精度が大きく向上します。

(2) 出力形式を指定する

ＡＩは自由に書かせると、長かったり、読みづらかったりする場合があります。
出力形式を具体的に指示すると使いやすい回答が得られます。

(3) 一度で完璧を求めない

生成ＡＩは、最初の一回で完璧な答えを返すわけではありません。
対話を重ねながら、少しずつ修正することが重要です。

(4) プロンプトの履歴（文脈）も重要

生成ＡＩは、直前までの会話の流れを踏まえて回答します。
文脈がつながるほど精度が高まります。
履歴の流れがバラバラな場合、意図と違う結果が出やすくなります。

□使用教材（AI リテラシーと公務員試験 AI 対策）

５．プロンプト

生成ＡＩを使いこなすための最も重要な要素である「プロンプト（指示文）」について学びます。

プロンプト

生成ＡＩでは、人が入力する言葉や質問のことを“プロンプト”と呼びます。
ＡＩはこのプロンプトに応じて答えや作品を自動的に生成します。
従来の「分析や判断を行うＡＩ」とは異なり、生成ＡＩは指示に応じて新しい文章・画像・音声など作り出せる点が大きな特徴です。



ＡＩはプロンプトの指示に合わせた文章や画像、音声などを作り出します。
指示がわかりやすく具体的であるほど、ＡＩからより正確で望ましい結果を得ることができます。
プロンプトの内容を具体的にすることが、ＡＩを上手に使うコツです。

【プロンプト例】
○次のイラストを描いて
何を　→　三毛猫（子猫）が
どんな雰囲気で　→　ボールで遊ぶ風景を
どのように　→　リアルに描いて

上記のように「何を」「どんな雰囲気で」「どのように」などの指示を加えると効果的。
「かわいい」「リアル」「アニメ風」などの形容も重要です。



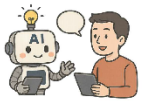
プロンプトの基本

基本の考え方

一度のプロンプトだけでは、望まれた回答は引き出せません。

生成ＡＩとのやり取りは「対話」です。
対話を重ねることで、より適切な回答を得ることができます。

プロンプトを設計・最適化する技術を「プロンプトエンジニアリング」と呼びます。



プロンプトの構成要素

プロンプトを構成する要素は、大きく４つあります。
４つの要素を理解することで、ＡＩへの指示が伝わりやすくなります。

① 命令・指示（Mission）
② 背景・文脈（Context）
③ 入　力（Input）
④ 出　力（Output）

次のページから
具体例を見ていこう



①命令・指示（Mission）

何をしてほしいかを明確に伝えます。
例：「文章を要約してください」
「イラストの説明文を作成してください」



②背景・文脈（Context）

目的や状況を伝えます。
例：「高校生向けの授業資料に使います」
「自治体職員研修用です」



③入力（Input）

生成ＡＩに渡す情報や素材です。
例：「以下の文章を要約してください」
「以下の図をもとに説明してください」



④出力（Output）

答えの形式を指定します。
例：「２００文字以内にしてください」
「箇条書きにしてください」
「表形式にしてください」



プロンプト作成のコツ

・目的を明確に伝えることが最も重要です。
→「何のために使うか」「誰に向けた内容か」を最初に記載

・出力形式を指定すると、より使いやすい結果が得られます。
→「表にまとめて」「箇条書きで」「一文で」など、具体的に指示

・一回で完璧な回答を求めないこと。
→ 対話を重ねながら少しずつ修正していくことがポイントです。

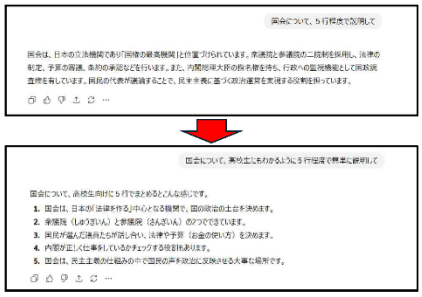
・プロンプトの履歴（やり取りの流れ）も大切です。
→ 同じ会話内では前の質問内容を踏まえて回答します。

プロンプト比較

悪いプロンプト／良いプロンプト(一例)

悪い例	良い例
説明して	高校生にもわかるように、簡単に説明して
要約して	職員研修のスライドに使うので、専門用語を減らして要約して
いい感じにして	プレゼン資料に使うので、自然でわかりやすい表現に直して
まとめて	100字以内でポイントを3つにまとめて

良いプロンプトほど「Mission・Context・Input・Output」がそろっています。



プロンプトのまとめ

①AIは「対話相手」として活用する

ＡＩは命令する相手ではなく、一緒に考えるパートナーです。
一方的に指示するよりも、「どうすればよいか相談する」気持ちで使うと、
より良い結果が得られます。

②少しずつ改善を重ねる

最初から完璧な答えを求めず、少しずつ調整していくことが大切です。
たとえば「もう少し短く」「図にできるように」など、フィードバック
（指示→確認→修正）を繰り返しましょう。

③結果を鵜呑みにしない

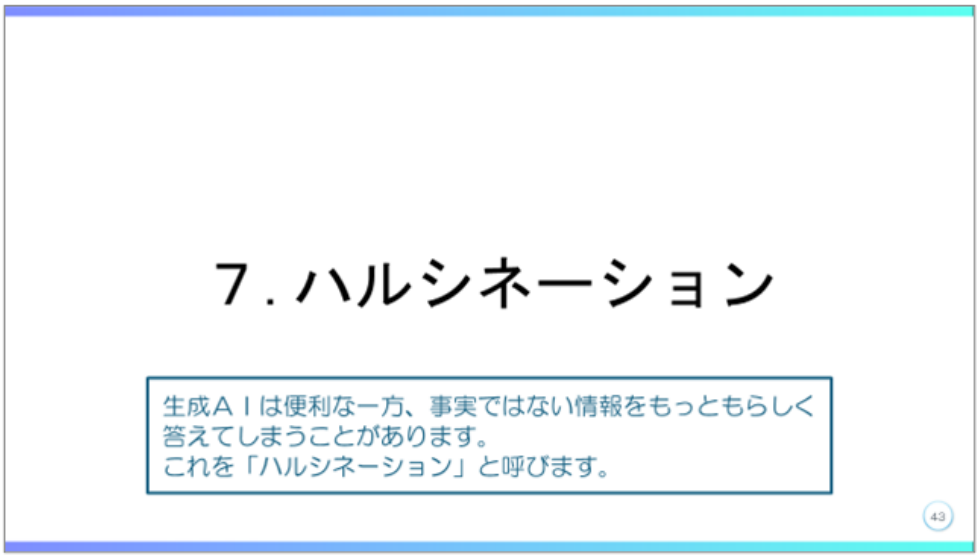
ＡＩの回答はあくまで提案の一つです。必ず自分で内容を確認し、
目的に合うか判断しましょう。

⑫授業 12：AI リテラシーと公務員試験 AI 対策-４

授業の位置づけ
AI リテラシー習得を目的として、生成 AI を安定的かつ安全に活用するためにプロンプトテンプレートとハルシネーションへの対応を学習する。 教材該当項目「６．プロンプトテンプレート」、「７．ハルシネーション」
到達目標
１．目的に応じた適切なプロンプトテンプレートの考え方を理解する ２．ハルシネーションの意味と特徴を理解する ３．ハルシネーションを抑制するための基本的な考え方を理解する
授業構成
教材に沿って、プロンプトテンプレートの活用例およびハルシネーションの実例を通して、生成 AI の特徴や注意点への理解を深める。
使用教材
AI リテラシーと公務員試験 AI 対策 プロンプト問題集
授業進行
指導者用授業ガイドに従って授業を進行する。 なお、プロンプトテンプレートについては教材に沿って授業を行う。
評価観点
１．プロンプトテンプレートの目的と使い方を理解しているか ２．プロンプトテスト（プロンプト問題集より出題）を通して、指示内容と出力結果の関係を理解しているか ３．ハルシネーションの内容と危険性を理解しているか ４．生成 AI の出力を検証しながら活用する必要性を理解しているか
評価基準（授業単位での評価の参考）
プロンプトテスト結果を基に、目的に応じた指示内容を構成できているか、出力結果を予測して適切に修正・工夫できているかを総合的に評価する。

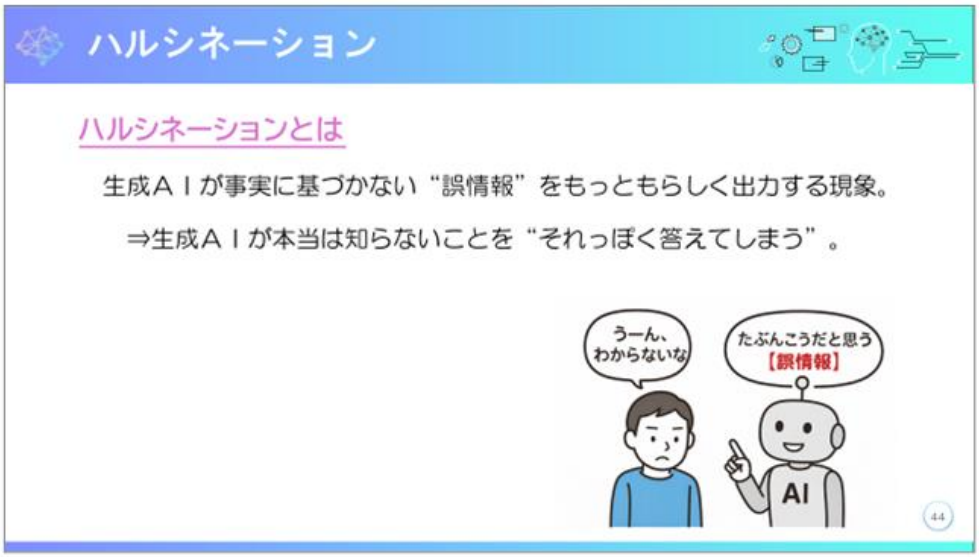
□授業進行

以下の指導者用ガイドに従って進行する。

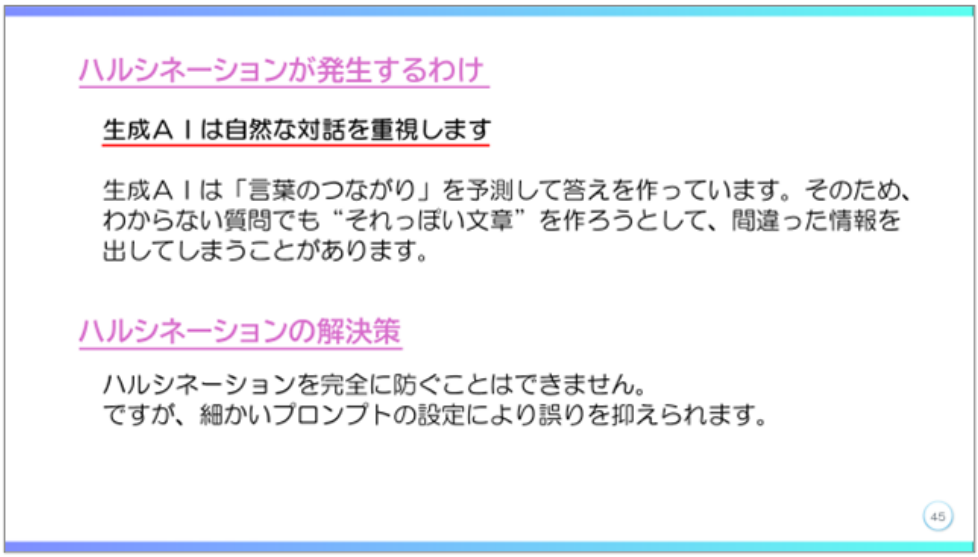


生成ＡＩは便利な一方、事実ではない情報をもっともらしく答えてしまうことがあります。
これを「ハルシネーション」と呼びます。

30

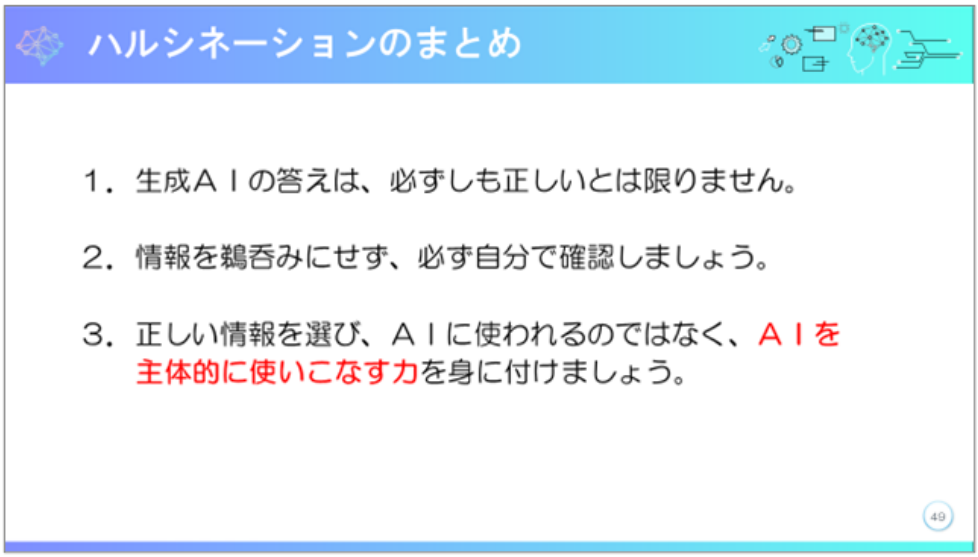


まず、「ハルシネーション」という言葉を確認しておきます。
ハルシネーションとは、生成ＡＩが事実に基づかない誤った情報を、もっともらしく回答してしまう現象を指します。
言い換えると、ＡＩが「知らないこと」をあたかも正しいかのように回答してしまう状態です。
生成される文章は自然で流暢なため、見ただけでは誤りに気づきにくいという特徴があります。



ハルシネーションが起きる理由は、生成ＡＩの仕組みにあります。
生成ＡＩは「正しい回答を導きだすこと」ではなく、「自然な対話となるように文章を生成することを優先する仕組みになっています。
ＡＩは、「文章の流れ」「よく使われる表現」「言葉同士の関係性」をもとに「次に来そうな言葉」を確率的に予測して文章を生成します。そのため、質問が曖昧であったり、ＡＩが知らない事柄に関する質問を受けたりすると、自然に見える文章を組み立てて返そうとします。
これが結果として、「実際には存在しない情報」「事実と異なる内容」が、もっともらしく提示されてしまうハルシネーションにつながります。

ハルシネーションを完全にゼロにすることはできませんが、プロンプトの工夫によって発生を抑制できます。



生成ＡＩを使用する上で重要なのは、「ＡＩの回答を鵜呑みにしないこと」そして「ＡＩに振り回されず、自分で判断しながら主体的に活用すること」です。

⑴ 生成ＡＩの回答は、常に正しいとは限らない

非常に自然な文章を生成しますが、誤情報をもっともらしく提示することがあります。

⑵ 情報をそのまま信じず、自分で確認する

ＡＩの内容をそのまま使用すると、誤った理解や誤記を含んだ資料作成につながる可能性があります。「数値は正確か」「情報源は信頼できるか」「目的に適した内容になっているか」「不自然な点はないか」など、疑問点があれば、必ず追加で質問し直します。

⑶ ＡＩに「使われる側」ではなく、ＡＩを「使いこなす側」へ

現代のＡＩ時代では、「ＡＩが自動的に正しい答えを出す」という考え方は危険です。必要なのは、「ＡＩの提案を選び取る判断力」「自分の目的に合った結果かどうか判断する力」「必要に応じて内容を加工して活用する力」「ＡＩの限界を理解し、安全に扱う姿勢」これらを含む能力が、主体的にＡＩを扱うための ＡＩリテラシー です。

ＡＩは現代の仕事や学習を支える強力なツールです。しかし、その出力を適切に扱えるかどうかは、人間の判断に委ねられています。ＡＩの回答をそのまま受け取るのではなく、「判断し、必要に応じて調整して使う」という姿勢が、ＡＩを使いこなすために最も重要です。

□使用教材（AI リテラシーと公務員試験 AI 対策）

6．プロンプトテンプレート

実際に使えるプロンプトのテンプレートを紹介します。
用途に応じて使い分けることで、誰でも精度の高い回答を得られます。

33

よく使うプロンプト（例）

1. 要点を整理したい
例：次の内容を、**結論→理由→例の順**で、60〜80字でまとめてください。
⇒**「授業や課題のまとめに最適」**

2. 表にまとめたい
例：内容を表形式（項目／説明）で、**6行以内に整理してください。**
⇒**「比較や一覧化に便利」**

3. 文字数を制限した要約
例：全体を**200字以内**で要約してください。構成は**結論→理由→例**にしてください。
⇒**「レポートの冒頭まとめに使える」**

4. 相手や文体を指定したい
例：高校生でもわかるように、**です・ます調**で説明してください。
専門用語は使わないでください。
⇒**「プレゼンや報告書の練習になる」**

30

5. 比較して説明したい
例：「コスト」「利便性」「安全性」の**3つの観点で比較**してください。
⇒**「選択肢を整理したいときに便利」**

6. メリット・デメリットが知りたい
例：○○の**メリットとデメリットを3つずつ**、簡単な例とセットで説明してください。
⇒**「比較表やまとめプリントづくりに使える」**

7. 重要な点だけ抜き出したい
例：本文からリスクと対応策を抜き出し、**チェックリスト形式**でまとめてください。
⇒**「試験勉強やノート整理に使えて便利」**

8. アイデアを出したいとき
例：○○の**活用アイデアを5つ、見出し＋1行説明**で提案してください。
⇒**「企画・発想・グループワークの準備に便利」**

42

9. 手順を整理したい
例：初心者向けに、○○を行う手順をステップ形式（各1〜2文）で説明してください。
⇒**「初心者向けに手順を説明するときに最適」**

10. 効果的なプロンプトを考えたい
例：△△を達成するための効果的なプロンプトを3つ示し、それぞれの狙いと注意点も教えてください。
⇒**「プロンプト改善の練習になる」**

11. 役割を与えて答えてほしい
例：あなたは「国語教師」です。高校生向けに、比喩表現の使い方を教えてください。
⇒**「視点を変えた説明を得られ、理解が深まる」**

12. 根拠や情報源を示してほしい
例：要点をまとめ、参考になる情報源を3つ挙げ、それぞれ1行で内容を紹介してください。
⇒**「レポート作成や研究課題に役立つ」**

41

13. 日本語をきれいに直したい
例：次の文章の誤字脱字を修正し、語尾を「です・ます」調に統一してください。
⇒**「作文・レポートの最終チェックに最適」**

14. わかりやすく言い換えたい
例：次の説明文を、高校生向けに比喩を使ってわかりやすく書き直してください。
⇒**「難しい説明をやさしく言い換えたいとき」**

15. 翻訳を丁寧な表現にしたい
例：次の英文を丁寧な日本語に翻訳し、研修や発表で使える表記に整えてください。
⇒**「翻訳＋日本語の整え直しまでお願いできる」**

42

7．ハルシネーション

生成ＡＩは便利な一方、事実ではない情報をもっともらしく答えてしまうことがあります。
これを「ハルシネーション」と呼びます。

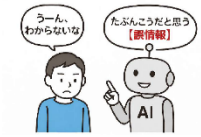
43

ハルシネーション

ハルシネーションとは

生成ＡＩが事実に基づかない“誤情報”をもっともらしく出力する現象。

⇒生成ＡＩが本当は知らないことを“それっぽく答えてしまう”。



44

ハルシネーションが発生するわけ

生成ＡＩは自然な対話を重視します

生成ＡＩは「言葉のつながり」を予測して答えを作っています。そのため、わからない質問でも“それっぽい文章”を作ろうとして、間違った情報を出してしまうことがあります。

ハルシネーションの解決策

ハルシネーションを完全に防ぐことはできません。
ですが、細かいプロンプトの設定により誤りを抑えられます。

45

ハルシネーション抑制プロンプト

【例①：事実確認を重視したプロンプト】
- 確認可能な事実に基づいて回答してください。
- 信用できる情報（公的機関、学術論文、公式サイトなど）を優先してください。
- 不明な場合は、「わかりません」と回答してください。
- 推測や憶測はしないでください。

【例②：「ハルシネーションしないで」と明示するプロンプト】
- ハルシネーションしないでください。
  →世界的に有名な企業でも実際に使われている方法です。

また、「明確で具体的な指示」があるほど、誤りを減らせます。

46

ハルシネーション発生の事例

AIの間違いが引き起こした事件（アメリカの弁護士の事例）

概 要

アメリカの弁護士が、航空機内での事故について、裁判の準備を行う際、生成ＡＩを使って、判例（過去の裁判の例）を調べ、そのまま裁判の書類として使用した。

問題点

ＡＩが作った判例の中には、「実在しないもの」が含まれていた。
ＡＩの答えをそのまま信用し、事実確認を行わなかった。

この結果、弁護士らが「提出内容が真実であり、確認済みである」という倫理・法律の役割を放棄したと判断し、弁護士とその法律事務所に対して５０００ドル（約７５万円）の罰金が科されました。

47

＜この事件から学べるポイント＞

- ＡＩツールは非常に便利ですが、出てきた答えが「常に正しい」とは限りません。
- 特に、法律やデータなど、「間違いが大きな問題になる分野」では、ＡＩの答えを必ず人間が確認することが必要です。
- 正解不正解にかかわらず、ＡＩの回答をそのまま使うと、ルール違反や罰則を受けることもあります。
- ＳＮＳ・広報など様々な場面でＡＩが使われますが、「人の目でチェックする」習慣を身に付けましょう。

48

ハルシネーションのまとめ

1．生成ＡＩの答えは、必ずしも正しいとは限りません。

2．情報を鵜呑みにせず、必ず自分で確認しましょう。

3．正しい情報を選び、ＡＩに使われるのではなく、ＡＩを主体的に使いこなす力を身に付けましょう。

49

□使用教材（プロンプト問題集）

画像生成プロンプト

【問　題】（初級：具体化）
　次のあいまいな指示を、より具体的なプロンプトに書き直しなさい。（AIがイメージしやすいように、対象・雰囲気・スタイルを追加すること）
　「ゆるキャラの絵を描いて」
【解答例】
　地域の特産品であるミカンをモチーフにしたゆるキャラが、子供たちに手を振っている様子を、パステルカラーの優しい色合いで、線が太く親しみやすいイラストスタイルで描いて。

【問　題】（初級：情景描写）
　次のあいまいなプロンプトを、具体的なプロンプトに書き換えなさい。
　「風景画像を作って」
【解答例】
　秋の夕暮れ時に、川沿いの桜並木の遊歩道を人々が散歩している風景を、温かみのある光が差し込む雰囲気で、観光パンフレットに使えるような高画質の写真スタイルで生成して。

【問　題】（中級：条件指定）
　自治体の「防災ガイドブック」の表紙に使用するイメージを作成します。下の条件をすべて入れた画像プロンプトを作りなさい。
　　モチーフ：　消防士と地域住民
　　雰囲気　：　信頼感があり、安心できる
　　スタイル：　誠実な印象の写実的なイラスト
　　色　味　：　オレンジと青を基調とした鮮明なトーン
【解答例】
　防災訓練で、消防士が地域住民に優しく避難誘導をしている様子を描いてください。信頼感と安心感が伝わるように、誠実なタッチの写実的なイラストスタイルで。配色はオレンジ（救助）と青（誠実）を基調とした鮮明なトーンにしてください。

【問　題】（中級：ターゲット意識）
　以下の条件を満たす画像生成プロンプトを作りなさい。
　　対　象　：　リサイクル推進キャンペーンのポスター
　　場　所　：　清潔感のある公園
　　雰囲気　：　明るく、未来志向
　　スタイル：　3DCGアニメーション風
【解答例】
　リサイクル推進キャンペーンのポスター用に、清潔感のある緑豊かな公園で、擬人化したゴミ箱ロボットと子供が協力して分別をしているシーンを描いて。明るく未来志向な雰囲気で、ピクサーのような高品質な3DCGアニメーション風のスタイルで生成してください。

【問　題】（応用：チャットボット設定）
　自治体HPの「問い合わせ対応チャットボット」のアイコン画像を生成AIで作るとしたら、どんなイメージにするべきか考え、以下の要素を含んだプロンプトを作りなさい。
　1．キャラクターの種類（人・動物・ロボットなど）
　2．雰囲気（誠実／親切／先進的 など）
　3．表情やポーズ
　4．背景や色味
　5．テイスト（フラットデザイン・立体的・手書き風 etc.）
【解答例】
　自治体の問い合わせ窓口となるAIアバターとして、清潔感のある制服を着た若い女性職員を描いてください。表情は微笑んでおり、親切に案内するような手のポーズ。背景は白または薄い緑で、視認性の高いフラットデザイン（シンプル）で、バストアップの構図で生成してください。

【問　題】（応用：イベントポスター）
　あなたが“市民祭りのポスター”に使うメインビジュアルを生成する想定で、以下の観点をすべて含むプロンプトを作りなさい。
　1．地域の賑わいが伝わる
　2．多世代（子供から高齢者まで）を入れる
　3．楽しげで活気ある雰囲気
　4．配色の指示あり
【解答例】
　市民祭りのポスター用に、夜空に打ち上がる花火を見上げる地域の多世代の人々（子供、若者、車椅子の高齢者など）の後ろ姿を描いて。背景には昼台の灯りが広がり、楽しげで活気ある雰囲気を表現してください。配色は夜空の紺色と、暖色の提灯の光のコントラストを強調した鮮やかな色合いのアニメ風イラストにしてください。

文章生成プロンプト

【問　題】（初級：具体化）
　次のあいまいなプロンプトを改善しなさい。
　「図書館の案内文を書いて」
【解答例】
　市立図書館の利用案内文を 300 字程度で書いてください。読者は最近引っ越してきた市民で、開館時間、貸出冊数、自習室の有無など、利用メリットをやさしい言葉（「です・ます」調）でわかりやすく紹介してください。

【問　題】（初級：要約力）
　次の文章生成プロンプトを、より正確で具体的にしなさい。
　「アンケート結果をまとめて」
　（改善のヒント：何についてのアンケートか、誰に向けて、どのような形式でまとめるかを追加する）
【解答例】
　「市民の公園利用に関するアンケート」の自由記述欄から、主な意見を抽出してまとめてください。担当課長への報告用資料として使うため、要望が多い順に箇条書きで5点整理し、それぞれに具体的な改善案を1行で添えてください。

【問　題】（中級：自己PR作成）
　公務員試験の面接カードを想定し、以下の条件を含めて自己PR文章を作らせるプロンプトを作成しなさい。
　　長　さ：　200 文字程度
　　読　者：　採用面接官
　　内　容：　強み（粘り強さ）・エピソード・公務員としての抱負
【解答例】
　市役所の採用面接官向けに、200 文字程度の自己 PR 文を作成してください。私の強みである「粘り強さ」を、部活動での経験を交えて説明し、最後は「困難な地域課題にも粘り強く取り組みたい」という公務員としての抱負で締めくくってください。

【問　題】（中級：住民向け広報）
　次の条件に合う文章生成プロンプトを作りなさい。
　　内　容：　健康診断（特定健診）の受診呼びかけ
　　長　さ：　140 文字以内（SNS 用）
　　読　者：　仕事が忙しい現役世代
　　雰囲気：　危機感を煽らず、前向きに行動したくなる文章
【解答例】
　市の公式 SNS で発信する「特定健診の受診呼びかけ」の文章を作成してください。仕事が忙しい現役世代に向けて、短時間で受診できるメリットを強調し、将来の自分のために行こうと思えるような前向きなトーンで、140 文字以内で書いてください。ハッシュタグ案も 3 つ添えてください。

【問　題】（応用：要約とリライト）
　あなたが読んだ難しい「行政計画」や「白書」の内容を、AIを使って住民向けにわかりやすく発信するプロンプトを作りなさい。以下を含むこと。
　1．対象となる資料の内容（例：環境白書、総合計画など）
　2．字数の目安
　3．ターゲット読者（中学生でもわかるように、など）
　4．文体の指定
【解答例】
　「第5次環境基本計画」の概要部分を基に、市民向け広報誌に掲載する紹介文を 600 字程度で作成してください。読者は中学生から高齢者まで幅広いため、専門用語（GX、カーボンニュートラル等）には簡単な補足説明を付け、親しみやすい「です・ます」調で書いてください。「私たちに今日からできること」を 3 つ提案する形式を含めてください。

【問　題】（応用：議事録作成支援）
　会議のメモ（発言録）を元に、AIに「議事録」を作ってもらいたいとします。DXの観点から効率的に作成するためのプロンプトを、以下の要素を入れて作りなさい。
　1．入力データ（会議メモ）
　2．作成する成果物
　3．構成の指定（決定事項・次回タスクなど）
　4．文体の指定（「だ・である」調など）
【解答例】
　以下の「会議メモ」を基に、部内共有用の議事録を作成してください。文体は簡潔な「だ・である」調とします。構成は【開催日時】【出席者】【決定事項】【主な議論の内容】【次回までのタスク（担当者名）】の順に整理し、ノイズ（雑談など）は省いて要約してください。

アイデア生成プロンプト

【問　題】（初級：具体化）
　次を具体化してください。
　「イベントのアイデアを出して」
【解答例】
　秋に開催する商店街活性化のためのイベントアイデアを５つ出してください。予算をかけずに、地元の学生と高齢者が交流できるような内容で、各案に 30 字程度の説明を付けてください。

【問　題】（初級：ターゲット設定）
　「ゴミ削減のアイデアを教えて」とだけ書いた場合、AI の回答は一般的すぎます。地域性やターゲットを追加して、より実効性のあるプロンプトにしなさい。
【解答例】
　家庭ごみの排出量を減らすための啓発キャンペーンのアイデアを５つ教えてください。ターゲットは「分別ルールが複雑で困っている単身世帯や若者」とし、スマートフォンを使ってゲーム感覚で参加できるような、DX を活用したアプローチを提案してください。

【問　題】（中級：企画立案）
　次の条件に合うプロンプトを作りなさい。
　　ジャンル：　動画企画（YouTube/TikTok など）
　　長　さ：　ショート動画（１分以内）
　　目　的：　市役所の採用活動（「堅い」イメージの払拭）
　　ターゲット：　公務員を目指す大学生
【解答例】
　公務員を目指す大学生に向けて、市役所の「硬い」イメージを払拭するためのショート動画（TikTok/Reels 用）の企画案を５つ考えてください。若手職員のリアルなランチタイムや、意外な部活動の様子など、親近感が湧く内容で構成してください。

【問　題】（中級：制約条件の活用）
　次の条件を満たす「施策アイデアを考えさせるプロンプト」を作りなさい。
　　課　題：　放置自転車の対策
　　条　件：　撤去（強制排除）以外の方法で
　　目　的：　マナー向上と景観美化
　　出　力：　ユニークなアイデア３案
【解答例】
　駅前の放置自転車を減らすための施策アイデアを３つ提案してください。強制撤去や罰金などの厳しい措置ではなく、ナッジ理論（行動経済学）を活用したデザインや、景観美化につながるアート要素を取り入れたユニークな方法で、利用者のマナー向上を促す案を出してください。

【問　題】（応用：地域課題解決）
　あなたの住む街の「空き家問題」を解決する新企画を AI に提案させるプロンプトを作りなさい。以下すべてを含むこと。
　１．活用方法（カフェ・シェアオフィスなど）
　２．ターゲット（移住者・起業家など）
　３．行政の支援策（補助金以外で）
　４．形式（具体的なステップを箇条書き）
【解答例】
　地域の空き家を「若手起業家のためのシェアオフィス兼お試し居住施設」として活用する企画を提案してください。ターゲットは都心からの移住検討者です。行政からの支援として、補助金以外の「人的ネットワークの紹介」や「広報支援」などを盛り込み、実現に向けた手順を箇条書きで５ステップにまとめてください。

【問　題】（応用：面接対策）
　あなたが希望する自治体や部署（防災・福祉・観光など）に合わせ、AI に「志望動機に盛り込むべき要素」を出してもらうプロンプトを作りなさい。以下を含むこと。
　１．志望分野
　２．自分の経験（ボランティア、アルバイトなど）
　３．自治体が求めていること（推測）
　４．出力形式（キーワードや構成案）
【解答例】
　私は観光課で「インバウンド誘致」に取り組みたいと考えています。私の経験である「留学での語学力」と「SNS 発信力」を活かしつつ、自治体が求めている「観光による地域経済の活性化」に貢献できることをアピールする志望動機の構成案を作ってください。盛り込むべきキーワードを５つ挙げ、論理的な構成で提示してください。

４要素（Mission/Context/Input/Output）のプロンプト

【問　題】（基礎：分類）
　次の文は Mission／Context／Input／Output のどれに当たるか分類しなさい。
　１．住民にも伝わるように専門用語を避けて
　２．以下の「市長定例記者会見」のテキストを要約して
　３．プレスリリース形式で出力して
　４．（ここに貼り付けられたテキストデータ）
【解　答】
　１．Context（背景・前提）：誰に向けて、どういう意図かを指定している。
　２．Mission（命令）：AI に何をしてほしいかの核となる指示。
　３．Output（出力形式）：どのような形式で出すかを指定している。
　４．Input（入力情報）：処理の対象となるデータ。

【問　題】（基礎：不足の発見）
　次のプロンプトには、４要素のうち何が不足していますか？（複数回答可）
　「マイナンバーカードについて説明してください。」
【解　答】
　Context（誰に？何のために？）
　Output（文字数は？形式は？）
【解　説】
　これでは「歴史的背景」が出るのか「取得方法」が出るのか不明です。
　「高齢者向けに取得メリットを説明する（Context）」や「箇条書きで（Output）」が必要です。

【問　題】（初級：Context の改善）
　次のプロンプトは背景情報が不足しています。Context を追加して改善しなさい。
　「この文章をわかりやすく書き直して。」　（行政手続きの案内文）
【解答例】
　Mission：以下の行政手続きの案内文を書き直してください。
　Context：日本語が得意ではない外国人住民向けに、「やさしい日本語」のガイドラインに沿って、一文を短くシンプルに伝えたいです。

【問　題】（中級：４要素の構築）
　以下の条件で、AI に指示を出すためのプロンプトを構成しなさい。
　Mission：　メールへの返信文を作成させる
　Context：　住民からの「道路の穴ぼこ」に関する苦情への対応
　Input　：　住民からのメール本文と、修繕予定日（来週月曜）
　Output　：　丁寧なお詫びと、迅速な対応を伝えるビジネスメール形式
【解答例】
　Mission：　住民からの苦情メールに対する返信文を作成してください。
　Context：　道路の陥没に関する通報への対応です。不安を与えたことへのお詫びと、担当部署としての迅速な対応姿勢を示したいです。
　Input　：　（住民のメール：〇〇通りのアスファルトが剥がれていて危険です…）　（対応予定：来週月曜日に修繕工事を実施）
　Output　：　丁寧なビジネスメール形式で作成してください。

【問　題】（中級：Output の指定）
　次のプロンプトに Output（出力形式）を追加して、実用的な資料にしなさい。
　「地域の防災対策についてアイデアを出して」
【解答例】
　地域の防災対策についてアイデアを出してください。
　Output：
　　・タイトル
　　・概要（50 文字）
　　・期待される効果
　　・必要な予算規模（小・中・大）　の４項目を表形式（マークダウンのテーブル）で５案出力してください。

【問　題】（応用：総合作成）
　あなたは広報課の職員です。来月の「環境フェスタ」の開催告知記事を AI に書かせるため、４要素をすべて満たすプロンプトを作成しなさい。
　要素のヒント：
　　Mission：記事作成
　　Context：ターゲットは親子連れ、楽しい雰囲気
　　Input　：日時・場所・内容（フリマ、キッチンカーなど）
　　Output　：Instagram のキャプション用、絵文字あり

【解答例】

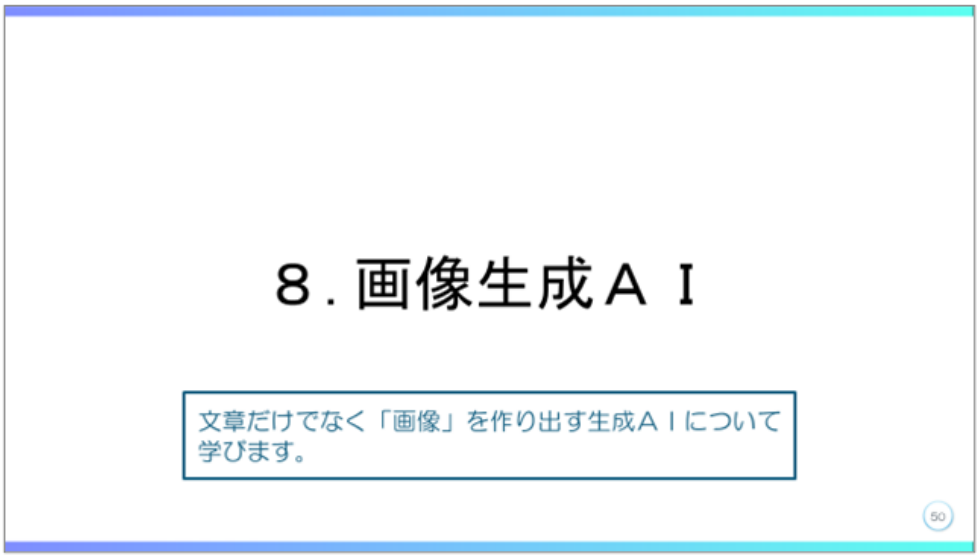
Mission：
来月開催する「環境フェスタ」の告知記事を作成してください。
Context：
週末に遊びに来る親子連れをターゲットに、エコについて楽しく学べるイベントであることをアピールしたいです。ワクワクするような明るいトーンでお願いします。
Input：
日　時：10月15日（土）10:00〜15:00
場　所：中央公園
内　容：リサイクルフリマ、地元野菜のキッチンカー、廃材工作ワークショップ
Output：
Instagramの投稿用キャプションとして作成してください。親しみやすい絵文字を適度に使用し、ハッシュタグも5つ提案してください。

⑬授業 13：AI リテラシーと公務員試験 AI 対策- 5

授業の位置づけ
AI リテラシー習得を目的として、生成 AI および画像生成 AI を適切かつ責任をもって活用するために、著作権を含む基礎知識を学習する。 教材該当項目「８．画像生成 AI」、「９．著作権」、「10．MY 生成 AI」
到達目標
１．画像生成 AI の仕組みと特徴を理解する ２．画像生成 AI の活用方法と注意事項を理解する ３．著作権に関する基礎的な考え方を理解する ４．MY 生成 AI の仕組みと活用のイメージを理解する
授業構成
教材に沿って、代表的な画像生成 AI の特徴や著作権の具体例を学習し、生成 AI への理解を深める。
使用教材
AI リテラシーと公務員試験 AI 対策
授業進行
指導者用授業ガイドに従って授業を進行する。
評価観点
１．画像生成 AI の基本的仕組みを理解しているか ２．画像生成 AI の利用上の注意点を理解しているか ３．目的に応じた AI 活用の考え方を理解しているか ４．著作権を含め、責任ある AI 活用の必要性を理解しているか
評価基準（授業単位での評価の参考）
授業の取り組み姿勢（質疑での発言、改善への取り組み）を基に評価する。

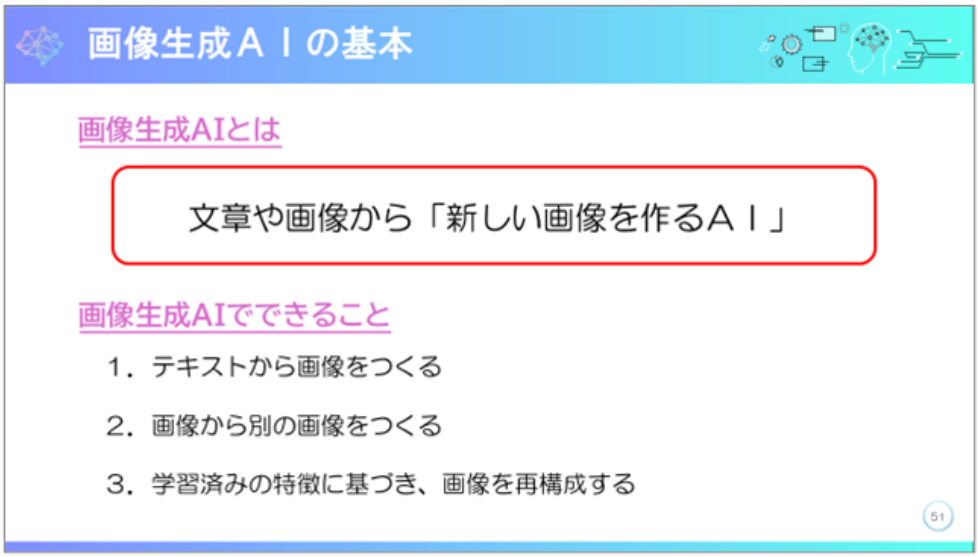
□授業進行

以下の指導者用ガイドに従って進行する



文章だけでなく「画像」を作り出す生成ＡＩについて学びます。

37



画像生成ＡＩとは、文章(テキスト)や画像を入力すると、新しい画像を自動で生成するＡＩ技術のことです。

例：「青空の下で走る三毛猫の子猫を、アニメ風に描いて」と入力すると、
その内容に沿った画像が生成されます。

テキスト指示だけで画像を作成できるため、デザイン・動画制作・SNS投稿・報告資料など多くの場面で活用が広がっています。

■ 画像生成ＡＩでできること

(1) テキストから画像を生成する

文章で説明するだけで、画像をゼロから作成できます。最も一般的に使われる機能です。

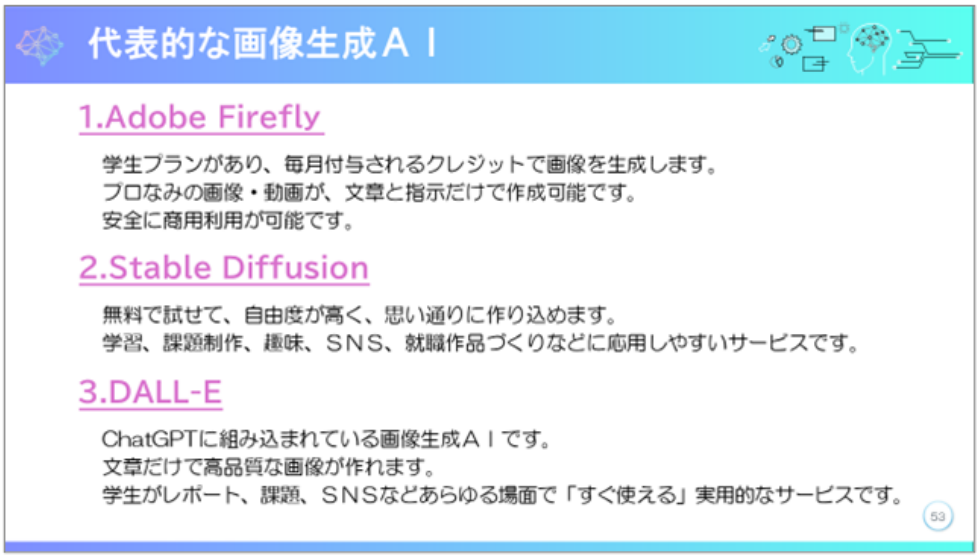
(2) 画像から別の画像をつくる

ラフスケッチから完成イラストを生成、写真をアニメ風に変換するなど、既存の画像を別のスタイルへ作り替えることが可能です。

(3) 学習した特徴を組み合わせて再構成する

ＡＩは膨大な画像から「形・色・構図・質感」などの特徴を学習しています。
それらを組み合わせて“新しい画像”を生み出すことができます。

→ 実在しない景色やキャラクター、デザインも生成できます。



(1) Adobe Firefly

- 学生プランあり
- 高品質な画像・動画をテキストだけで作成できる
- 商用利用の安全性が高い(著作権的に安心)

→ 学校・ビジネス・SNSのいずれでも使いやすいサービスです。

(2) Stable Diffusion

- 基本無料で利用可能
- 好きなスタイルに調整できる自由度の高さが特徴
- 拡張機能に対応し、細かい表現が可能

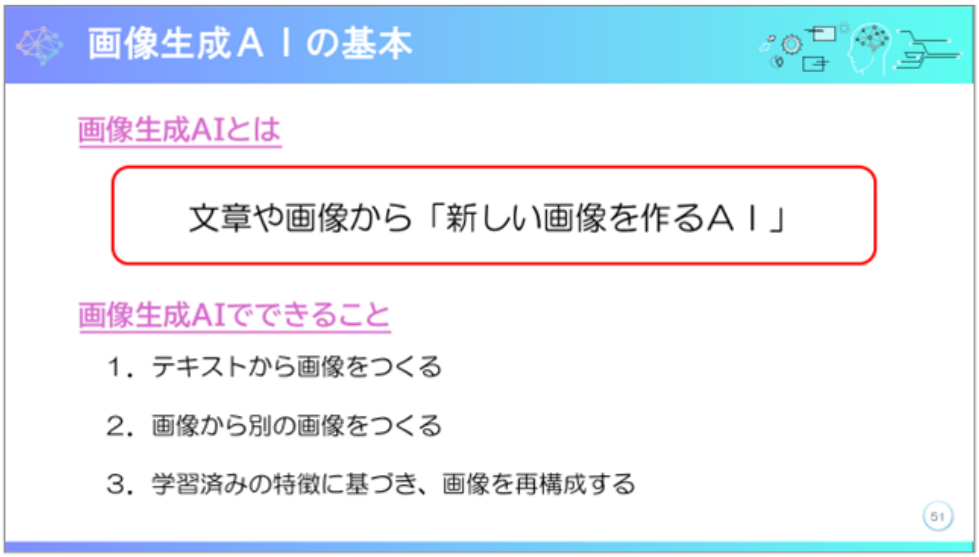
→ 学習や課題、SNS、ポートフォリオ制作に適しており“学びながら使えるＡＩ”です。

(3) DALL-E

- ChatGPTの画面から直接生成可能
- テキストだけで高品質な画像を生成
- レポート・資料・SNS投稿への活用が容易

→「手軽さ」と「実用性」が高い画像生成ＡＩです。

※ 紹介した３つはすべて日本語に対応しています。



画像生成ＡＩとは、文章(テキスト)や画像を入力すると、新しい画像を自動で生成するＡＩ技術のことです。

例：「青空の下で走る三毛猫の子猫を、アニメ風に描いて」と入力すると、
その内容に沿った画像が生成されます。

テキスト指示だけで画像を作成できるため、デザイン・動画制作・SNS投稿・報告資料など多くの場面で活用が広がっています。

■ 画像生成ＡＩでできること

(1) テキストから画像を生成する

文章で説明するだけで、画像をゼロから作成できます。最も一般的に使われる機能です。

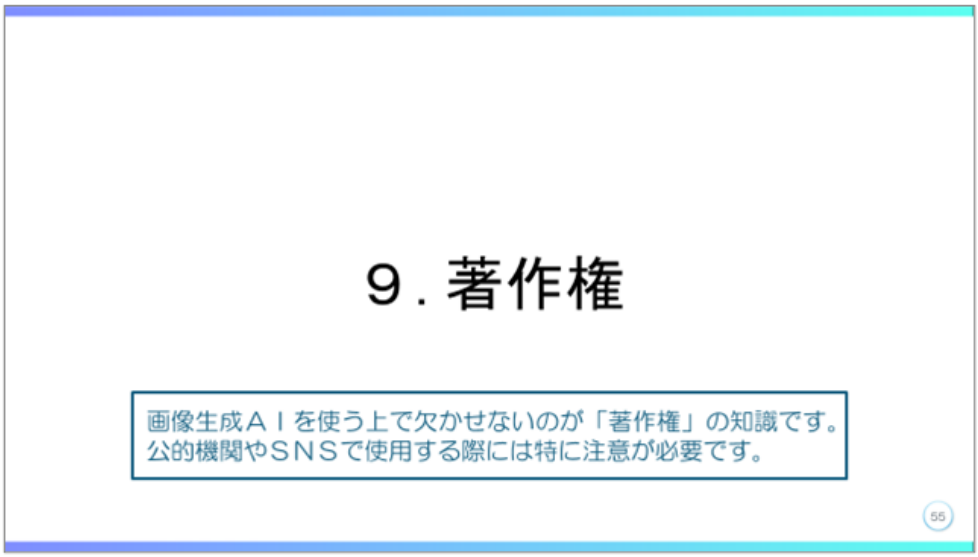
(2) 画像から別の画像をつくる

ラフスケッチから完成イラストを生成、写真をアニメ風に変換するなど、既存の画像を別のスタイルへ作り替えることが可能です。

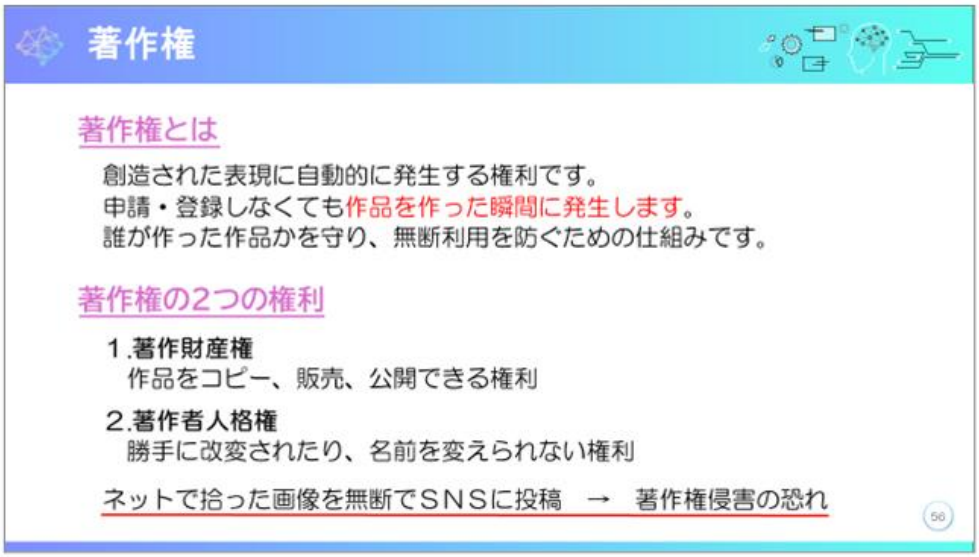
(3) 学習した特徴を組み合わせて再構成する

ＡＩは膨大な画像から「形・色・構図・質感」などの特徴を学習しています。
それらを組み合わせて“新しい画像”を生み出すことができます。

→ 実在しない景色やキャラクター、デザインも生成可能できます。



画像生成ＡＩを使う上で欠かせないのが「著作権」の知識です。
公的機関やＳＮＳで使用する際には特に注意が必要です。



生成ＡＩ、画像生成ＡＩを活用する上で、必ず知る必要があります。
著作権とは、創作された“表現”に自動で発生する権利です。

特徴：申請や登録は不要
作品を作った時点で権利が発生する
作者を守り、無断利用を防ぐための仕組み

■著作権の２つの権利

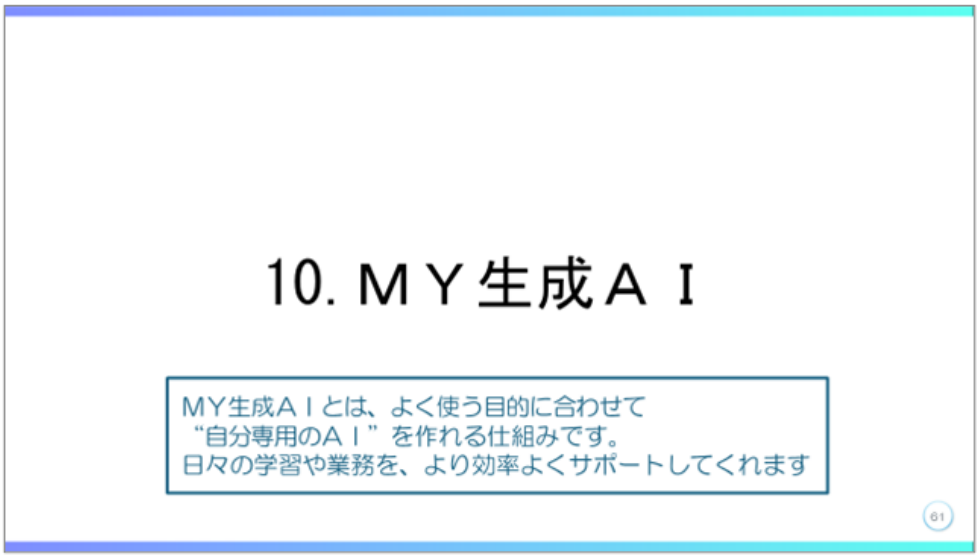
(1) 著作財産権

作品をコピー・販売・公開する権利です。無断利用は著作権侵害となります。

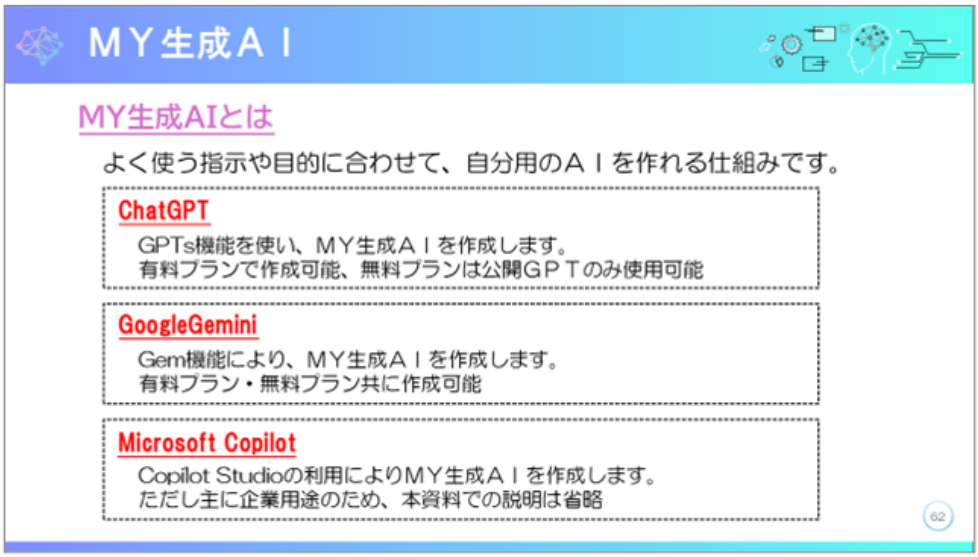
例：他人のイラストをSNSアイコンに使う → 侵害
市販教材をコピーして配布する → 侵害

(2) 著作者人格権

作品と作者のつながりを守る権利です。勝手に改変されたり、作者名を勝手に変えられたりしないよう保護します。



ＭＹ生成ＡＩとは、よく使う目的に合わせて“自分専用のＡＩ”を作れる仕組みです。
日々の学習や業務を、より効率よくサポートしてくれます。



自分用に設定・調整されたオリジナルのＡＩアシスタントのことです。
近年の生成ＡＩは、単にツールとして「使う」だけでなく、自分専用にカスタマイズしたＡＩ(MY生成ＡＩ)を作成できるようになっています。

利用イメージの例：公務員試験の勉強だけに特化したＡＩ
文章の添削が得意なＡＩ
画像生成用のプロンプトを自動で作成するＡＩ
説明資料を要約してくれるＡＩ
自分の授業内容を覚えて答えてくれるＡＩ　など

このように、用途に合わせて「自分だけのアシスタント」を作成して活用することができます。

□使用教材（AI リテラシーと公務員試験 AI 対策）

８．画像生成ＡＩ

文章だけでなく「画像」を作り出す生成ＡＩについて学びます。

画像生成ＡＩの基本

画像生成AIとは

文章や画像から「新しい画像を作るＡＩ」

画像生成AIでできること

1．テキストから画像をつくる

2．画像から別の画像をつくる

3．学習済みの特徴に基づき、画像を再構成する

仕組みのポイント

画像生成ＡＩは、学習によって得た「画像の特徴」をもとに、
“新しい画像” を作り出します。

注意事項

- 画像生成ＡＩは、仕様や利用規約が頻繁に変更されます
- 商用利用の条件がサービスごとに異なります
- 最新情報を公式サイトで必ず確認しましょう

次のページから
代表的な画像生成ＡＩを見ていこう



代表的な画像生成ＡＩ

1.Adobe Firefly

学生プランがあり、毎月付与されるクレジットで画像を生成します。
プロなみの画像・動画が、文章と指示だけで作成可能です。
安全に商用利用が可能です。

2.Stable Diffusion

無料で試せて、自由度が高く、思い通りに作り込めます。
学習、課題制作、趣味、SNS、就職作品づくりなどに応用しやすいサービスです。

3.DALL-E

ChatGPTに組み込まれている画像生成ＡＩです。
文章だけで高品質な画像が作れます。
学生がレポート、課題、SNSなどあらゆる場面で「すぐ使える」実用的なサービスです。

画像生成ＡＩのまとめ

- 画像生成ＡＩは公務員試験対策とは直接関係しませんが、将来の業務で役立つスキルであるため、理解しておきましょう。
- 公務員の仕事についた際、プレゼンテーション資料や掲示物など様々な場面でイラストを使う機会があります。学生のうちから画像生成ＡＩを理解しましょう。
- 画像生成ＡＩは画像生成以外にも、写真の不要物削除など、実用的な修正にも活用できます。普段の生活で画像生成ＡＩを活用すると便利です。

※　紹介した３つの画像生成ＡＩは、いずれも日本語に対応しています。

９．著作権

画像生成ＡＩを使う上で欠かせないのが「著作権」の知識です。
公的機関やＳＮＳで使用する際には特に注意が必要です。

著作権

著作権とは

創造された表現に自動的に発生する権利です。
申請・登録しなくても作品を作った瞬間に発生します。
誰が作った作品かを守り、無断利用を防ぐための仕組みです。

著作権の2つの権利

1.著作財産権
作品をコピー、販売、公開できる権利

2.著作者人格権
勝手に改変されたり、名前を変えられない権利

ネットで拾った画像を無断でＳＮＳに投稿　→　著作権侵害の恐れ

生成画像の商用利用

生成画像を商用利用する場合、著作権を侵害しないよう、各サービスの規約で商用利用の可否を必ず確認してください。

Q&A

＜生成したイラストに著作権が発生する？＞
「創作的な意図がある」＋「プロンプトが創作的寄与である」
→両方を満たす場合、著作権が発生します。

＜既存の著作物に類似している場合、著作権を侵害する？＞
「類似性（一目で見て判断できる）」＋「依拠性（プロンプトで既存の著作物を利用）」
→両方を満たす場合、侵害にあたります。

著作権の落とし穴

個人利用なら問題ありませんが…

→ＳＮＳを含め、公に人の目に触れる場合は注意が必要です。

行政機関で使用する場合は…

→著作権によらず、信頼性の観点から問題視されることがあります。

次のページから画像生成ＡＩで作成した画像の

「商用利用での著作権侵害事例」と「行政機関でのトラブル事例」

をそれぞれ見ていきましょう！

商用利用での著作権侵害事例

画像生成ＡＩで制作された画像複製による著作権侵害

概 要

千葉県警は画像生成ＡＩで制作された画像を無断で複製し、電子書籍の表紙に使用したとして、神奈川県大和市の男性を著作権法違反の疑いで書類送検した。画像は被害者が具体的な指示を繰り返し入力して制作したもので、著作物に該当すると判断された。

課 題

画像生成ＡＩによる作品でも、プロンプトの内容や制作過程によっては著作物と認められる可能性がある。公的機関や企業が画像生成ＡＩを利用する際は、「利用規約や商用利用の可否」、「既存著作物に依存しないプロンプト設計」、「適切な権利処理」など、慎重な対応が求められる。

行政機関でのトラブル事例

海上保安庁が生成ＡＩで作成したパンフレットのイラスト

概 要

海上保安庁は、海難事故防止を呼び掛けるパンフレットに、無償の画像生成ＡＩを用いて作成した、「アニメ風の女性イラスト」を掲載した。
しかし、このイラストが「著作権侵害ではないか」との批判が相次いだ。

課 題

海上保安庁は批判を受け、パンフレットの配布を中止しました。
著作権法上、生成ＡＩを利用すること自体は違法ではありませんが、公的機関で利用する際は、より慎重な対応が求められます。
各画像生成ＡＩサービスの利用規約を確認し、商用利用の可否を把握したうえで、生成物が既存の著作物に類似しないよう、プロンプトの設計や利用範囲を工夫するなど、適切に配慮しながら活用する必要があります。

10. ＭＹ生成ＡＩ

MY生成ＡＩとは、よく使う目的に合わせて
“自分専用のＡＩ”を作れる仕組みです。
日々の学習や業務を、より効率よくサポートしてくれます

ＭＹ生成ＡＩ

MY生成AIとは

よく使う指示や目的に合わせて、自分用のＡＩを作れる仕組みです。

ChatGPT
GPTs機能を使い、ＭＹ生成ＡＩを作成します。
有料プランで作成可能、無料プランは公開ＧＰＴのみ使用可能

GoogleGemini
Gem機能により、ＭＹ生成ＡＩを作成します。
有料プラン・無料プラン共に作成可能

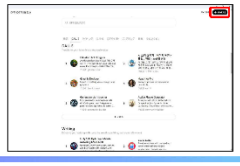
Microsoft Copilot
Copilot Studioの利用によりMY生成ＡＩを作成します。
ただし主に企業用途のため、本資料での説明は省略

－ ChatGPT（有料版）－



1

GPTを選択



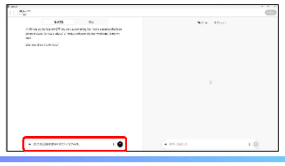
2

＋作成するを選ぶ



3

左側がGPTの作成画面。
右側が作ったGPTへの質問画面です。
まずは、作成画面から見ていきましょう。



4

作りたいGPTを指定しましょう。

例：あなたは公務員試験の
キャリアアドバイザーです。



5

GPTsの名前を決めることができます。
また、同様にプロフィール画像、
性格（GPTsの話し方など）を決定します。



6

構成画面から指示を編集することで、
目的に合ったGPTsを作成することが
できます。



7

作成したGPTsはここから見ることが
できます。



8



9

指示を工夫することで、ＡＩの性格などを
自分の思いどおりにカスタマイズできます。

- ChatGPT（無料版）-



1

GPTを選択

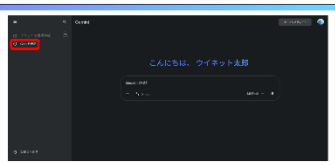


2

公開されているGPTsを活用できます。

※　個人が特定される情報は入れないよう
注意しましょう。

- Gemini（有料版・無料版）-



1

Gemを表示を選択



2

＋Gemを作成を選択
また、公開されているGemも
利用可能です。



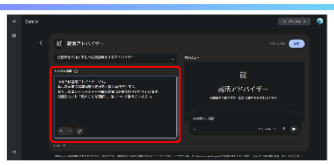
3

任意の名前を設定



4

任意の説明を設定



5

指示（プロンプト）を設定する



6

参考資料等がある場合は
張り付ける



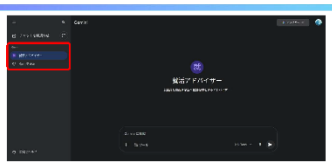
7

保存を選択



8

チャットを開始を選択



9

作成したGemは
ここに反映されます。



10

ChatGPTと同様に、
自分に合ったMY生成ＡＩを
作成し、活用してみましょう！

ＭＹ生成ＡＩのまとめ

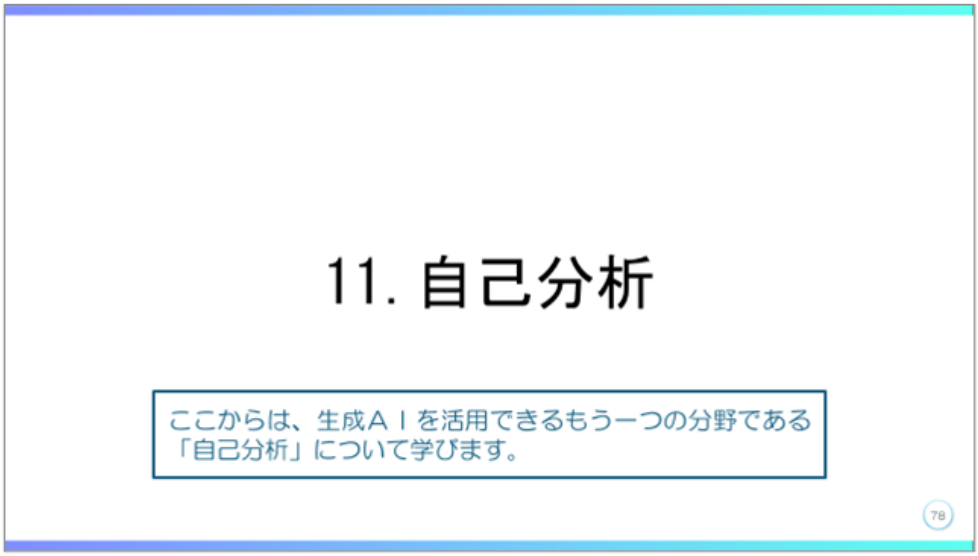
- 質問のたびに複雑なプロンプトを入力する必要がなくなります。
- 「質問専用ＡＩ」「添削ＡＩ」など、用途別に活用できます。
- 自分好みにカスタマイズでき、学習や業務が効率化できます。
- 自分に合ったＭＹ生成ＡＩを作り、学習や将来の業務でも積極的に活用しましょう。

⑭授業 14：AI リテラシーと公務員試験 AI 対策- 6

授業の位置づけ
AI を活用した公務員試験対策を目的として、生成 AI を補助的に活用しながら自己理解を深め、志望動機や自己 PR につなげる方法を学習する。 教材該当項目「11．自己分析」
到達目標
１．自己分析の目的と基本的な考え方を理解する ２．自分自身の強みや弱みを整理し、言語化できる ３．生成 AI を活用して自分を客観的に捉え、自己 PR に活用できる
授業構成
教材に沿って生成 AI を活用して自己認識を深めた上で、志望動機や自己 PR 作成につなげる。
使用教材
AI リテラシーと公務員試験 AI 対策
授業進行
指導者用授業ガイドに従って授業を進行する。
評価観点
１．自己分析の目的と基本的な方法を理解しているか ２．自分の経験を自己分析の材料として捉えられているか ３．自分の強みや特徴を整理して説明できているか ４．生成 AI の役割を理解し、補助的なツールとして適切に活用しているか
評価基準（授業単位での評価の参考）
授業の取り組み姿勢（質疑での発言、改善への取り組み）を基に評価する。

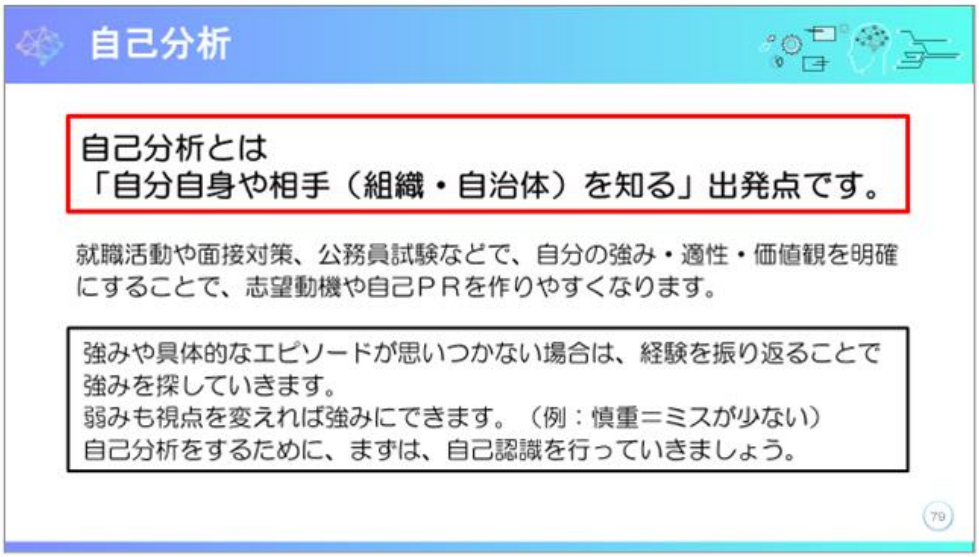
□授業進行

以下の指導者用ガイドに従って進行する。



ここからは、生成ＡＩを活用できるもう一つの分野である「自己分析」について学びます。

56



自己分析とは、「自分自身を理解すること」と「相手（組織・自治体）を理解すること」からはじまります。公務員試験や面接対策においても、自分の強み・価値観・適性を明確にすることは欠かせません。なぜなら、志望動機も自己PRも、自分がどのような人物であるかを理解していなければ作れないためです。

(1) 自己分析が不足している場合に起こる問題

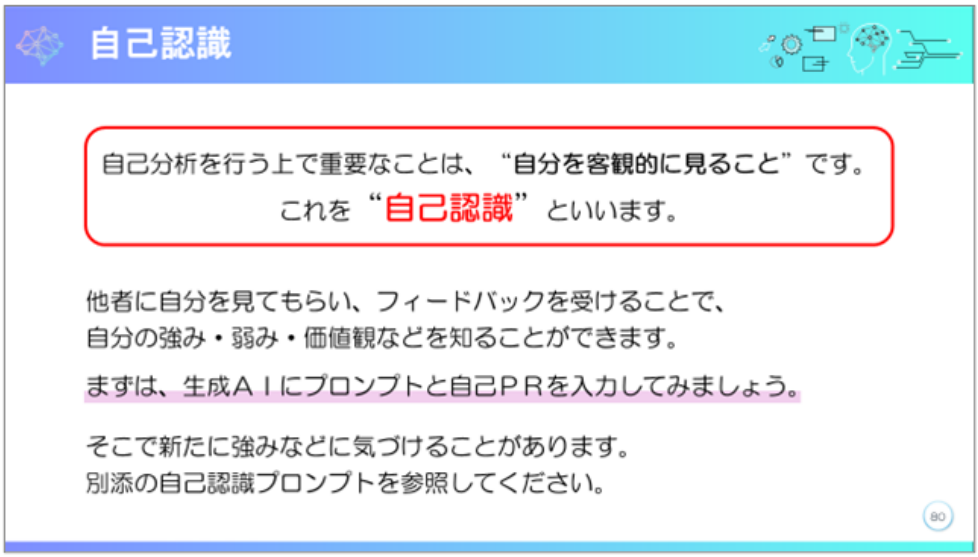
自己分析が不足していると、次のような状態に陥りやすくなります。

「あなたの強みは？」と聞かれて答えられない
「なぜその自治体を志望するのか？」の説明が浅くなる
エピソードが抽象的になり、説得力に欠ける　など

(2) 自己分析ができている場合の効果

自己分析が十分であると、次のようなメリットが生まれます。

自己PRに一貫性が生まれ、相手から信頼されやすい
志望動機が相手に響く内容になる
面接で迷いがなくなり、自信を持って話せる　など



自己分析において最も重要なのは、「自分を客観的に捉える力＝自己認識」です。
自分の性格・行動パターン・強み・弱み・価値観を客観的に理解している人は、
自己PRや志望動機を作成する際に、ぶれない軸を持つことができます。

(1) 他者からのフィードバックが自己認識を深める

自分一人で考えているだけでは気づけない点が多くあります。
そのため、他者の視点を取り入れることが重要です。

例：自分では当たり前だと思っていた行動が「強み」と言われる
気づいていなかった価値観や思考のクセを指摘される
弱みだと思っていた点が「長所」として扱えることに気づく

自己分析は、「内面を見つめる作業」だけではなく、他者との対話によって深まる
プロセスであることを理解する必要があります。

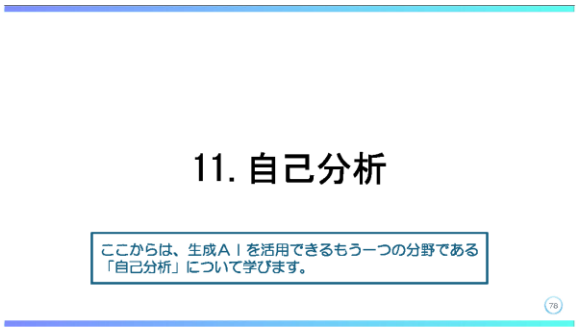
(2) 生成ＡＩも“客観的な視点”として活用できる

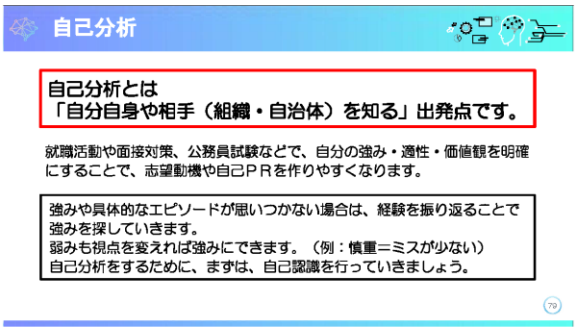
近年では、自己分析の補助として生成ＡＩを活用する方法も広がっています。

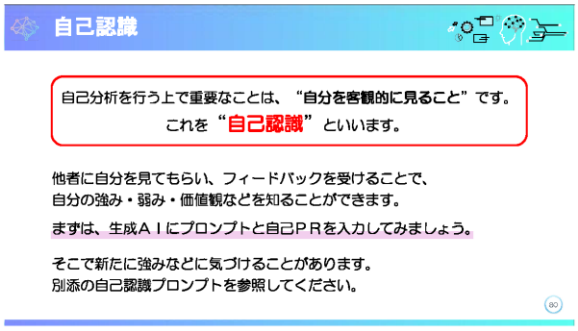
例：自己PR文を読み込み、強みや特徴を抽出してもらう
エピソードから読み取れる長所を一覧化する
あいまいな表現を具体的に言い換えてもらう
面接官の視点で改善点を指摘してもらう

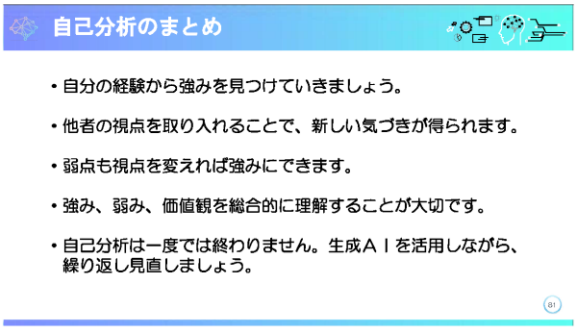
ＡＩは、第三者の客観的視点として役立つため、自分では気づけなかった強みを
発見できることがあります。

□使用教材（AI リテラシーと公務員試験 AI 対策）









□使用教材（自己認識プロンプト）

自己認識プロンプト

あなたは教師です。
以下の学生の自己 PR を読み、学生が自分を深く理解できるよう、対話形式で自己認識を深めるサポートをしてください。

1　目　的
　学生が自分の強み・弱み・価値観・行動特性を「自分の言葉」で理解し、自己分析をより深めること。

2　教師（あなた）の役割
(1)　自己 PR から読み取れる重要ポイントを見つける
(2)　そのポイントを基に、学生に対して深掘り質問を 1 つずつ行う
(3)　学生の回答内容に応じて追加の質問を行い、理解を深くする
(4)　質問は、学生が考えやすい順序（強み → 行動 → 価値観 → 弱み → 伸びしろ）で進める
(5)　教師として、批判ではなく成長につながる支援的な姿勢で質問する
(6)　最後に、これまでの対話をもとに、学生の自己認識を総合的にまとめる

3　質問のルール
(1)　1 回の返答につき、質問は 1 つか 2 つまで
(2)　「はい／いいえ」で終わらない、思考を促す質問にする
(3)　学生の言葉を引用しながら質問する
(4)　「理由」「背景」「価値観」「感情」「判断基準」の深掘り質問を含める
(5)　決して分析を先に提示せず、学生の考えを引き出す姿勢を徹底する

4　分析観点
(1)　強み（行動特性・能力の再現性を含む）
(2)　弱み（改善可能性をポジティブに）
(3)　価値観（行動の背景にある意思決定の軸）
(4)　行動特性（性格傾向・コミュニケーション傾向）
(5)　今後の伸びしろ（成長可能性）

5　学生の自己 PR
　（ここに学生が自己 PR を記述）

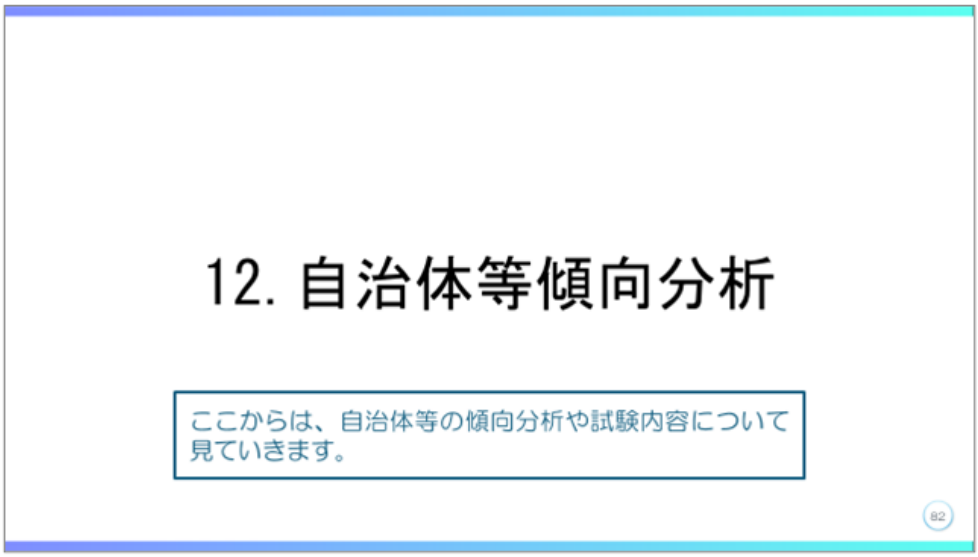
まずは、自己 PR を読んで教師が最初の深掘り質問を提示してください。

⑮授業 15：AI リテラシーと公務員試験 AI 対策- 7

授業の位置づけ
AI を活用した公務員試験対策を目的として、生成 AI を用いながら、自治体等の採用情報や試験傾向を収集・整理・分析する方法を学習する。 教材該当項目「12．自治体等傾向分析」
到達目標
１．自治体等の採用情報を確認・把握する際の視点を理解し、整理できる ２．試験内容や試験形式が変更される可能性があることを理解する ３．生成 AI を活用した情報収集の方法を理解し、活用範囲を判断できる ４．自治体等の情報を整理し、説明できる形にまとめられる
授業構成
教材に沿って、自治体等の採用情報や試験傾向の分析を行い、生成 AI 活用への理解を深める。
使用教材
AI リテラシーと公務員試験 AI 対策 用語等穴埋め確認テスト
授業進行
指導者用授業ガイドに従って授業を進行する。
評価観点
１．自治体等の採用情報の見方を正しく理解しているか ２．集約した情報を整理し、説明できる内容として把握しているか ３．生成 AI の役割を理解し、補助的なツールとして適切に活用しているか
評価基準（授業単位での評価の参考）
本科目のまとめとして、生成 AI 学習の理解度を確認するために、用語等穴埋め確認テストを実施する。

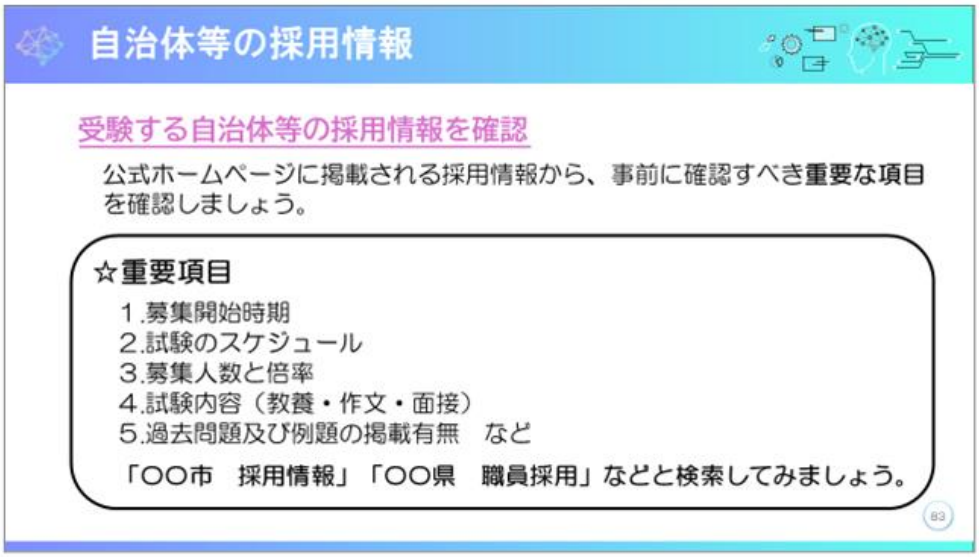
□授業進行

以下の指導者用ガイドに従って進行する。



ここからは、自治体等の傾向分析や試験内容について見ていきます。

62



公務員試験は「事前の情報収集」が大切です。志望する自治体の公式ホームページで、採用に関する重要情報を必ず確認しましょう。

■ 事前に必ず確認すべき５つ事項と確認方法

⑴ 募集開始時期

自治体ごとに出願期間が異なります。出遅れると受付が終了してしまい、受験できなくなるため、最優先で確認すべき事項です。

⑵ 試験スケジュール

一次試験(教養・作文など)／二次試験(面接・集団討論など)

自治体間で試験日が重なる場合があるため、早めに日程を把握しておく必要があります。

⑶ 募集人数と倍率

募集人数が少ない自治体は、倍率が高くなる傾向があります。
受験戦略を立てる際の重要な判断材料になります。

⑷ 試験内容（教養・作文・面接など）

自治体ごとに試験形式は異なります。特に、以下の点は必ず確認しましょう。

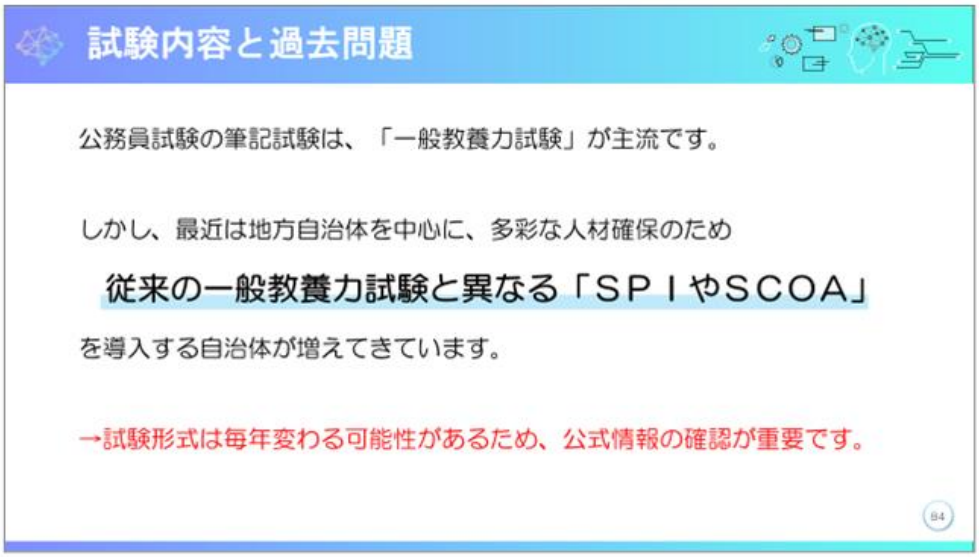
作文のテーマ傾向／面接方式(個別・集団)／筆記試験の種類

⑸ 過去問題や例題の有無

出題傾向を把握する上で非常に重要です。
自治体によっては、一般教養や作文の例題が掲載されている場合があります。

採用情報の確認方法は公式ホームページで簡単に確認できます。

例：○○市　職員採用
　　○○県　採用情報　など



公務員試験の筆記試験は「一般教養力試験」が主流です。しかし、近年は多様な人材の採用を目的として、試験形式が変化しています。

(1) 一般教養力試験（従来型）

基礎的な学力・知識・判断力を測定する試験で、現在も多くの自治体が採用しています。

(2) SPI・SCOA の導入

特に地方自治体では、SPI(民間型適性検査)や SCOA(総合適性検査)を導入するケースが増加しています。

評価される内容：思考力、性格特性、基礎学力、コミュニケーション傾向　など

多才な人材確保のため、年度ごとに試験形式が変更される場合があります。

(3) 試験形式の変更

自治体は試験形式を毎年のように見直しており、前年と同じ形式とは限りません。
必ず最新の公式情報を確認しましょう。

□使用教材（AI リテラシーと公務員試験 AI 対策）

12. 自治体等傾向分析

ここからは、自治体等の傾向分析や試験内容について見ていきます。

82

自治体等の採用情報

受験する自治体等の採用情報を確認

公式ホームページに掲載される採用情報から、事前に確認すべき重要な項目を確認しましょう。

☆重要項目

1.募集開始時期
2.試験のスケジュール
3.募集人数と倍率
4.試験内容（教養・作文・面接）
5.過去問題及び例題の掲載有無　など

「○○市　採用情報」「○○県　職員採用」などと検索してみましょう。

83

試験内容と過去問題

公務員試験の筆記試験は、「一般教養力試験」が主流です。

しかし、最近は地方自治体を中心に、多彩な人材確保のため

従来の一般教養力試験と異なる「ＳＰＩやＳＣＯＡ」

を導入する自治体が増えてきています。

→試験形式は毎年変わる可能性があるため、公式情報の確認が重要です。

84

教養試験の過去問題は次の３つの自治体を除き非公開となっています。

1　**国家公務員**
　国家一般職、海上保安庁、裁判所職員（特別職）など
2　**地方公務員（一般職）**
　東京都、特別区
3　**地方公務員（公安職）**
　東京消防庁

例題を掲載している自治体は多くあります。過去問題、例題の公開の有無は各自治体等の公式情報で確認しましょう。

また、多くの自治体で作文の過去問題は公開されています。

85

生成ＡＩを活用した情報収集

採用情報プロンプト

生成ＡＩを使って必要な情報を整理しましょう。生成ＡＩで全体を把握し、最終確認は必ず公式ＨＰで行いましょう。

例：令和○年度○○市○○職（高卒程度）の採用情報を要約してください。

その他情報

採用情報のほか、生成ＡＩで「**市政情報（政策・計画・取り組みなど）**」や、「**求める人材**」などを調べ、要約するなど、有効的に活用しましょう。

試験対策の効率化を図りましょう！

86

□使用教材（用語等穴埋め確認テスト）

用語等穴埋め確認テスト

1. 従来のAIが「分析・識別」を得意としていたのに対し、学習データをもとに新しい文章や画像などを［　ア　］することに特化したAIを生成AIという。
2. AIにデータを与えて学習させ、大量のデータからルールやパターンを見つけ出す技術全般を［　イ　］という。
3. 人間が「正解」を与え、AIに正しい出力を学ばせる学習方法を［　ウ　］学習という。売上予測などに使われる。
4. 正解を与えず、AIが自らデータの特徴を見つけて分類・グループ化を行う学習方法を［　エ　］学習という。
5. AIが試行錯誤を繰り返し、「成功したら報酬」を与えることで最適な行動を学ばせる手法を［　オ　］学習という。
6. 人間の脳の神経回路を模倣した数理モデルで、機械学習の発展を支える技術基盤を［　カ　］という。
7. ［　カ　］を構成する最小単位で、人間の脳における「神経細胞」に相当するものを［　キ　］という。
8. ［　カ　］において、データを受け取る「入力層」と結果を出す「出力層」の間にある層を［　ク　］層という。
9. AIがデータを識別・判断するために注目すべき「重要なポイント」のことを［　ケ　］という。
10. ［　カ　］をさらに多層化し、より複雑な情報の学習や高精度の判断を可能にした技術を［　コ　］（深層学習）という。
11. ［　コ　］の課題として、AIの判断プロセスが複雑すぎて人間には理解・説明できなくなる状態をAIの［　サ　］化という。
12. ［　サ　］化を解決するために開発されている、判断の根拠を人間に提示できるAI技術を［　シ　］（説明可能AI）という。
13. 生成AIは、確率的に「言葉の［　ス　］」を予測して文章を作成しているため、事実関係を無視した回答をすることがある。
14. 生成AIが、事実に基づかない「もっともらしい嘘」を出力してしまう現象を［　セ　］という。
15. 著作権は、役所への申請や［　ソ　］を行わなくても、作品を作った瞬間に自動的に発生する権利である。
16. 生成AIで作った画像が著作権侵害になる要件には、既存の著作物に似ているという「類似性」と、それを元にして作ったという［　タ　］性の2つがある。
17. 生成AIに対する「指示」や「命令文」のことを［　チ　］という。
18. 望ましい回答を得るために、AIへの指示を設計・最適化する技術を［　ツ　］という。
19. プロンプト構成要素の4つとは、命令（Mission）、背景（Context）、入力（Input）、および形式などを指定する［　テ　］（Output）である。
20. プロンプトにおいて、「あなたはキャリアアドバイザーです」のようにAIに役割を与える指示は、構成要素のうち［　ト　］に当たる。
21. OpenAI社が開発した対話型AIで、自然な会話やプログラミング補助に強みを持つサービスは［　ナ　］である。
22. Google社が開発したAIで、Google Workspaceとの連携やマルチモーダル（画像・音声）処理に強みを持つのは［　ニ　］である。
23. Microsoft社が開発し、WordやExcelなどのOffice製品と統合されているAIサービスは［　ヌ　］である。
24. プロンプト作成において、一度で完璧な回答を求めず、対話を重ねて修正していくことを［　ネ　］バック（指示→確認→修正）を繰り返すという。
25. ハルシネーションを防ぐプロンプトとして、「確認可能な［　ノ　］に基づいて回答してください」と指示することが有効である。

用語等穴埋め確認テスト（回答）

ア：生成（作り出す）
イ：機械学習
ウ：教師あり
エ：教師なし
オ：強化
カ：ニューラルネットワーク
キ：ニューロン
ク：中間
ケ：特徴量
コ：ディープラーニング
サ：ブラックボックス
シ：XAI
ス：つながり
セ：ハルシネーション
ソ：登録
タ：依拠
チ：プロンプト
ツ：プロンプトエンジニアリング
テ：出力
ト：背景（Context）
ナ：ChatGPT
ニ：Gemini
ヌ：Copilot
ネ：フィード
ノ：事実

５．生成 AI 活用に関する方針・ルール・意図

（１）傾向分析科目における生成 AI 活用の基本方針

傾向分析科目における生成 AI 活用の基本方針は、公務員試験における傾向分析科目の中で理解・判断・分析を支援する補助的手段として用いることにある。

本科目は、募集要項や自治体資料、試験問題文を正確に読み取り、「何が問われているのか」「どのような力が評価されているのか」を理解することを目的としている。そのため、学生が主体的に情報を収集し、分析する中で、情報の分析、整理ツールとして生成 AI の役割を位置づける。また、読解力や作文力の育成においては、生成 AI は「考える代わり」ではなく、「考えるための整理・確認の道具」として位置づける。

（２）傾向分析科目における AI 活用ルール

①生成 AI 活用のルール

・生成 AI に解答、結論、評価を出させない
・原文を読まずに AI の要約のみで理解したと判断しない
・AI の出力は必ず原文と照合する
・使用目的（整理、可視化、チェック）を明確にして使用する
・教員の指示なく、課題解答に直接使用しない

（３）傾向分析科目におけるルールの意図

傾向分析科目では、読解力、判断力、準備の形成が学習の中心となる。その中で、生成 AI に考えさせ、制作させ、決めさせてしまうと、学生が思考停止になり安易な生成 AI 依存に陥る懸念がある。そうなれば、本科目が目指す公務員試験対策の土台形成ができず合格力を育てることはできない。

そのため、本科目では生成 AI を情報整理、効率的な取り組みを実現する補助ツールとして、厳格に運用することを徹底する。

６．委員名簿

実施委員

氏名		所属・職名	役割等
1	浦山　哲郎	学校法人浦山学園	理事長
2	永井　真介	学校法人浦山学園	常務理事
3	浦城　尚武	学校法人浦山学園	校長
4	佐竹　新市	学校法人龍馬学園	理事長
5	中島　慎太郎	学校法人有坂中央学園	理事長
6	大平　康喜	学校法人穴吹学園	専務理事
7	宮岡　良次	学校法人三友学園	理事･事務局長
8	坪内　浩一	学校法人坪内学園	理事長
9	中谷　浩美	学校法人 YIC 学院	専務理事
10	廣瀬　智範	富山県	経営管理部 人事企画室 人材戦略課長
11	森田　貴之	射水市	企画管理部　次長
12	岩本　健嗣	公立大学法人富山県立大学	情報工学部 情報システム工学科　教授
13	吉川　智	一般社団法人富山情報産業協会	専務理事
14	小村　亮	一般社団法人生成 AI 活用普及協会	事務局次長

事業推進委員

氏名		所属・職名	役割等
1	浦城　尚武	富山情報ビジネス専門学校	校長
2	石田　哲也	富山情報ビジネス専門学校	学事部/企画推進部 次長
3	清水　大樹	富山情報ビジネス専門学校	教務部
4	三宅　可倫	富山情報ビジネス専門学校	教務部
5	宮田　和樹	群馬法科ビジネス専門学校	副校長
6	馬場　隆信	専門学校穴吹ビジネスカレッジ	教務部長
7	中川　隆	龍馬情報ビジネス＆フード専門学校	校長
8	武下　浩史	専門学校岡山情報ビジネス学院	公務員/公務員速修学科 学科長
9	石飛　美香	専門学校坪内ビジネスカレッジ	副校長
10	橋口　浩太	YIC 公務員専門学校	教務課係長
11	中瀬　幸子	Avinton ジャパン株式会社	代表取締役
12	島田　勝彰	合同会社ハピオブ	代表社員
13	中本　亮	富山県	知事政策局参事・デジタル化推進室情報システム課長

令和 7 年度「地方やデジタル分野における専修学校理系転換等推進事業」

公務員デジタル人材育成モデル構築事業

公務員試験傾向分析科目　テキスト教材

令和 8 年 2 月発行

学校法人 浦山学園　富山情報ビジネス専門学校

〒939-0341 富山県射水市三ケ 576

TEL：0766-55-1420　FAX：0766-55-0757